

禁電子式複写

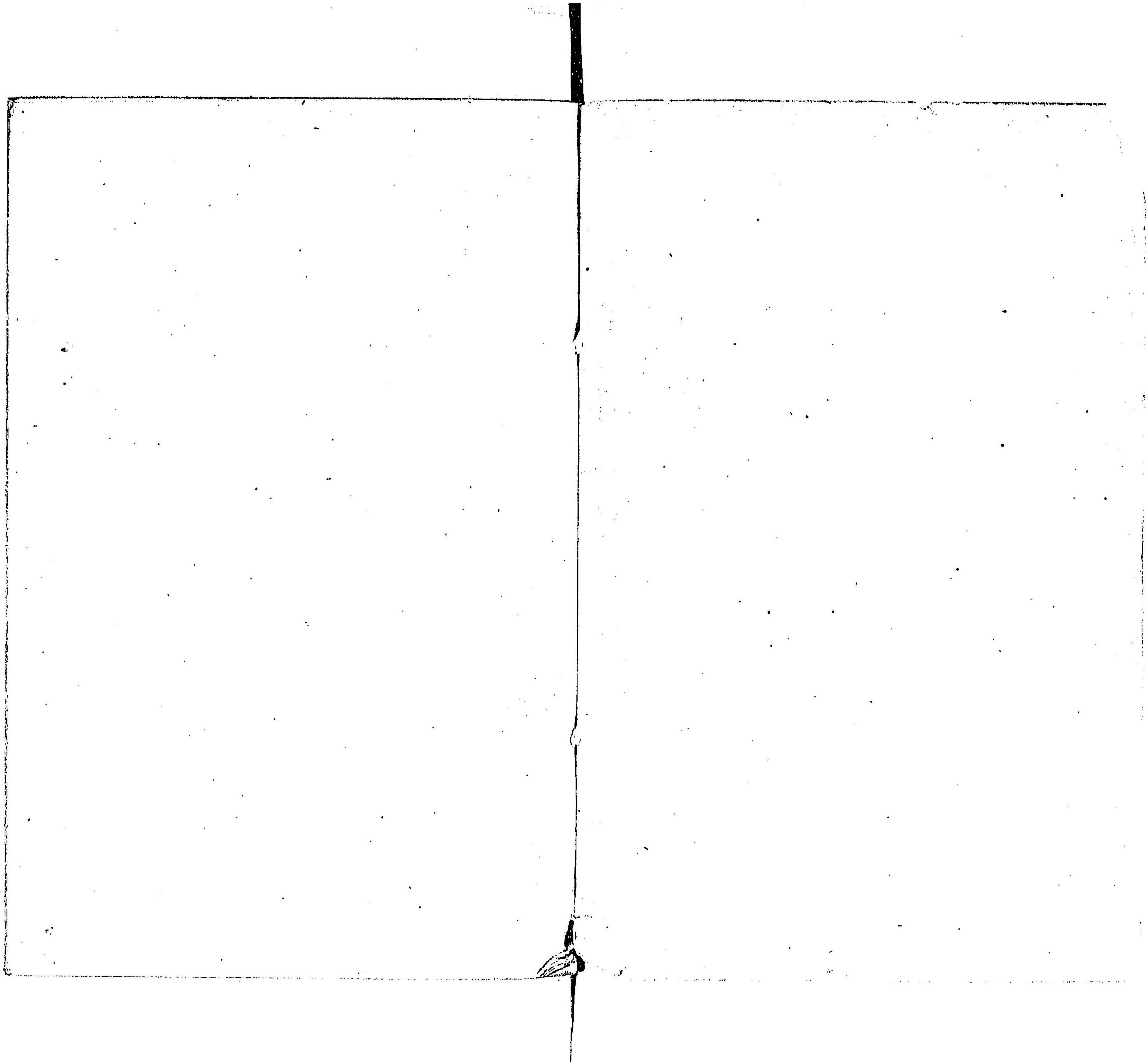
明治  
廿二年

京都府府令達要約

第十編

下卷

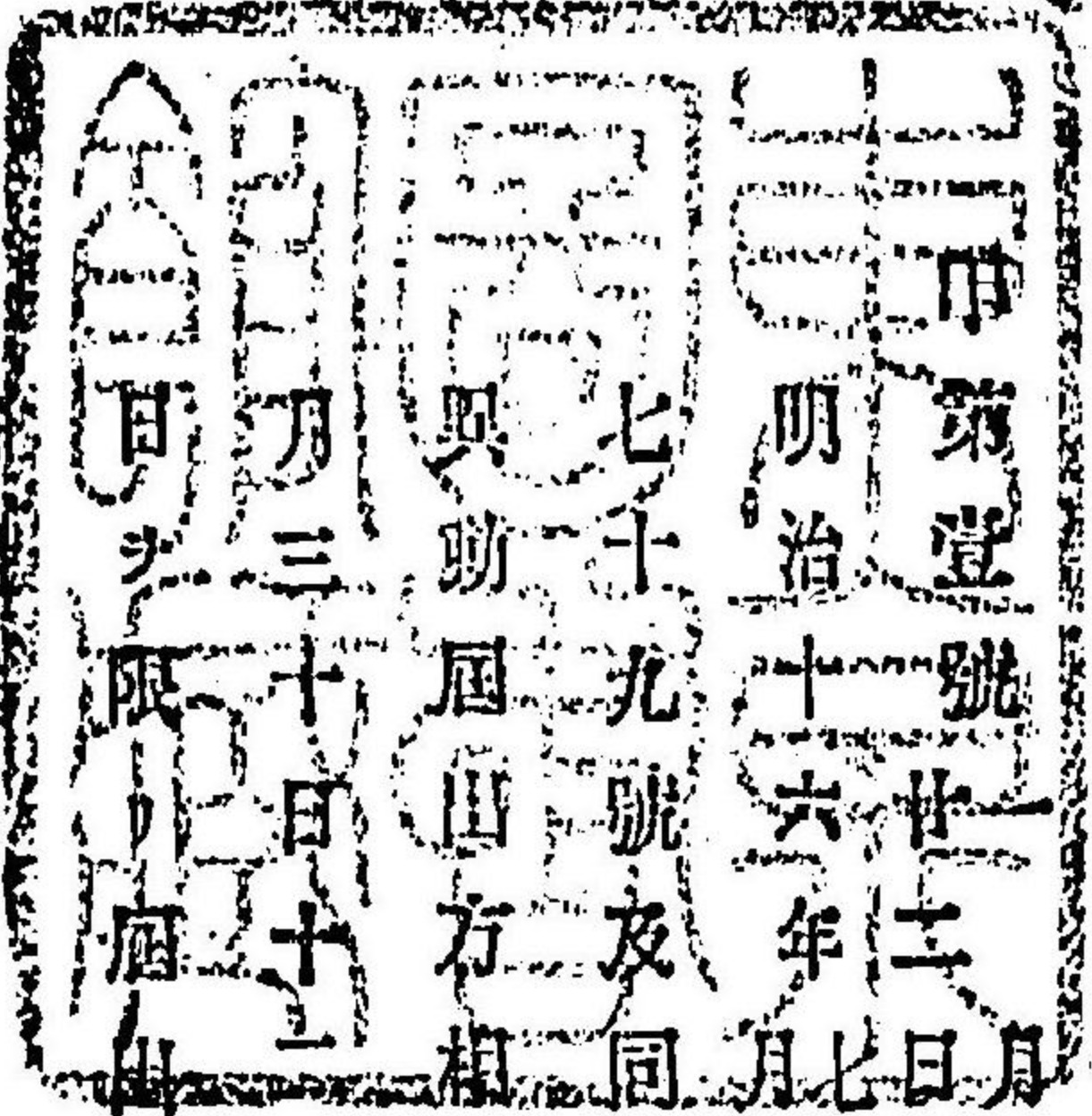
京都府内務部第一課編纂



特14  
520

C2  
1113  
69-02

○明治二十二年 京都府府令達要約



右相達ス

郡區

當廳乙第百二十九號同十七年八月當廳乙第百  
十八年十二月當廳乙第百八十八號ヲ以テ船舶  
達置候處本年分ヨリ別紙雛形ニ據リ毎年六  
月三十一日ノ兩期現在數取調各翌月三十一  
日ヨリ施行ス



明治何年六月三十日(十二月三十一日)

何郡區  
現在船舶調表

廿二年

船魚		五石以上					形西		種類
船魚		漕上廻					船洋		種類
四間以下	三間以下					何拾石	風帆船	汽船	區別
								何	員數

免稅船					小船及廻船			
傳馬船	渡船	水災備船	耕作用船	工事倉庫船	遊船	七間以下	六間以下	五間以下

甲第貳號 廿一月 郡區(下京區ヲ除ク)  
 渡錢ヲ要スル橋梁下渡船場等ニ於テ無錢通行スヘキモノ  
 十二年

、中電信配達人ノ項左ノ通改正候條其許可ヲ得テ設置シ  
 アル町村總代又ハ負擔人ヘ示達スヘシ  
 右相達ス

一電信配達人

但特ニ配達人タルヲ証スル服ヲ着シ若クハ左ノ雛形  
 ノ印鑑ヲ携帶スルモノニ限ル

印鑑雛形

二寸五分

第 號

○ 何地郵便電信(電信)局集配人  
 何ノ誰

○ 明治年月日

何何  
 何何  
 郵便電信局

甲第三號 十一月三日 郡區  
 明治十九年十一月一日 當廳甲第二十三號達ノ内風水害表ヲ更ニ  
 水害表トシ別紙書式ノ通相定ム  
 右相達ス

年				洪水月日		何月何日		何月何日		何月何日	
派川名	支川名	幹川名	流域名	何	何	何	何	何	何	何	何
何々	何々	何々	何々	橋梁	堤防	道路	名	稱	箇	所	延
				毀流	欠切	毀損					
				損失	所所	損					
											長
											再築費概算

水害表

(明治何年)

何郡役所

廿二年

五

報		海岸水害月日	海岸名	郡區名	町數	村數	川除破損
提		何月何日	何々	何郡區	何箇町	何箇村	
要							川除破損
							類流損失
							用惡水路破損
							波止場流損失

一 提要ノ欄ニハ河川ノ水源流末及ヒ水害ノ景況ヲ畧記スヘシ  
 一 河川ノ水害ハ各流域毎ニ一表ヲ製シ海岸ノ水害海潮ノ害ヲ被リタル者ヲ云フハ一海岸ヲ通シ一表ヲ製スヘシ  
 一 金員ハ圓延長ハ問位ニ止ムヘシ  
 一本表差出期限ハ二月廿八日トス

甲 第四號 二月 八日 郡區

市制及町村制第十八條中選舉原簿及選舉人名簿市制第二十六條町村制第二十七條中選舉錄ハ別紙書式ニヨリ調製スヘシ  
 右相違ス  
 (選舉原簿書式)

氏	名	何	某	何	某	何	某
---	---	---	---	---	---	---	---

廿二年

出生年月日	住居所番地	明治何年何月何日以來二年間					合計	明治何年何月何日以來二年間 市(町村)税ヲ分擔ス	明治何年何月何日以來二年間 地租ヲ納付ス
		額納税(村町)市接直度年何治明	地租	所得稅附加稅	戶別割(家屋割)	營業割			
年月日	年番月地日	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有	有	
年月日	年番月地日	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有	有	
年月日	年番月地日	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	金圓錢厘	有	有	

明治何年何月何日以來二年間 直接國稅貳圓以上ヲ納付ス	有	無
	有	無
	有	無
	有	無

選舉原簿書式解説

- 一 第一欄ニハ選舉權ヲ有スルモノ、氏名及會社其他法人ノ名稱ヲ記載ス
- 二 第二欄ニハ出生ノ年月日ヲ記載ス但市制町村制第十二條第二項第三項ニ據リ選舉權ヲ有スル者ハ之ヲ欠ク
- 三 第三欄ニハ住所ノ番地及其市町村内ニ占居ノ年月日ヲ記載ス又市制町村制第十二條第二項ニ據リ選舉權ヲ有スル者ニシテ其市町村内ニ住居スルハ住所番地

廿二年

ノ欄ニ記載シ會社其他ノ法人及他市町村ニ住居スル  
モノハ末尾空欄中ニ其住所又ハ所在地番號ヲ記載ス  
但住所番地ハ記入ノ必要ナキ場合占居年月日ハ三年  
以來住居ヲ占ムルモノハ之ヲ欠クモ妨ナシ

四 直接市町村税ノ納額ハ選舉會豫定期日ノ前年度ノ納  
税額ヲ記載ス

五 市町村税地租及直接國税ハ選舉會豫定期日ヨリ溯リ  
前滿二ケ年間間斷ナク納税ノ義務ヲ負擔スルモノヲ  
記載ス但市町村制施行以前ニ係ルモノハ區町村會水  
利土功會ノ議決ニ係ル直接税ヲ記載ス  
六 地租納付ノ爲メ新ニ選舉權ヲ得タル者ノ年數ハ地券  
書替ノ日ヨリ計算ス

七 直接國税貳圓以上納付ノ爲メ新ニ選舉權ヲ得タル者  
ノ年數ハ其納税期前納ニ屬スルトキハ納期ノ末日ヨ  
リ後納ニ屬スルトキハ納税義務ノ起リタル初日ヨリ  
計算ス

八 年限ノ特免ヲ得タルモノハ末尾ノ空欄中ニ特免ノ事  
由ヲ摘載ス

九 被選舉人ヲ識別スル便宜ノ爲メ第三欄ノ次ニ(被選舉  
權ヲ有ス)ノ一欄ヲ設クルハ妨ナシ

(選舉人名簿書式)

直接市町村税納額	住	所	氏	名




選舉人名簿書式解説

一 市町村制第十二條第一項第二項第三項ニ據リ選舉權ヲ有スルモノニシテ直接市町村稅納額ノ多キ者ヨリ

順次ニ列記シ納額同シキモノハ住居年數多キ者ヨリ  
 順次ニ列記シ住居ノ年數ニ依リ難キモノハ年齢ニ依  
 リ年齢ニモ依リ難キモノハ市町村長抽籤ヲ以テ定ム  
 ル所ニ據リ記載ス

二 直接市町村稅ヲ總計シ其總額ヲ等級ノ數ニ分チタル  
 額ニ當ル迄ノ者ヲ以テ一級選舉人トシ爾餘ノ選舉人  
 ヲ以テ二級三級ノ選舉人トス但市ハ選舉區町村ハ選  
 舉分會ヲ設ケタルトキハ其選舉區及分會ニ要スル爲  
 メ同一ノ名簿數部ヲ調製ス

三 住所ノ欄ニハ現住居ノ番地又ハ會社其他法人ノ所在  
 地ヲ記ス但他市町村ニ住居シテ市制町村制第十二條  
 第二項ニ據リ選舉權ヲ有スルモノハ其郡市町村住所

ノ番地ヲ記ス

四 直接市町村納稅額ノ欄ニハ選舉豫定期日ノ前年度ノ

納稅額ヲ記載ス

某市町村又選舉錄

某市町村又ハ會議員何級定期改選又ハ補缺選舉

本市町村又ハ會定期改選ニ方リ議員若干名選舉ノ爲メ本月日

某市町村又ハ補缺選舉ニ於テ何級ノ選舉會ヲ開キ市長(又ハ町村長)ニ

於テ何某々々々ノ幾名選舉掛ニ選任シ市長何某又ハ町村

又ハ其代理者何某選舉掛長トナル

同日午前(午後)第何時選舉掛長選舉掛着席開會ス

午前(午後)第何時ヲ以テ投票ヲ閉鎖ス其投票ヲ開キ之ヲ檢

スルニ投票總數ノ内有効投票若干ニシテ其投票ヲ受ケク

ル人名及投票點數左ノ如シ

何 何

何點

ト

ト

右投票點數ノ多少ヲ比較シ某某ノ幾名ヲ以テ當選者ト定

ム而シテ某某ハ投票ノ數相同キヲ以テ某ノ年齡若干某ノ

年齡若干ヨリモ多キヲ以テ年長者某ヲ取リ某某ハ孰モ年

齡若干孰モ同年ナルヲ以テ掛長自ラ抽籤ヲ以テ某ヲ當選

トス

無効投票總數若干ノ中何票ハ人名ヲ記載セス何票ハ被選

舉人名ノ外他事ヲ記入スルモノ何票ハ代人ヲ出シテ投票

セシモ其代人ノ年齡未丁年ナルカ故ニ無資格ノ者トシ孰

廿二年

十五

モ成法ニ據リ棄却ス右投票ノ受理並効力ニ關スル調査ヲ  
遂ク午後第何時全ク選舉事務ヲ了シ此選舉會ヲ閉ツ  
右選舉ノ顛末ヲ記録シ選舉人ノ面前ニ於テ之ヲ朗讀シ別  
冊選舉人名簿點數簿其他關係書類何括テ合綴シ其正當ナル  
ヲ記スル爲メ爰ニ署名捺印ス

明治 年 月 日

選舉掛長	何	某
市長	何	某
町村長	何	某
選舉掛	何	某
同	何	某

例言

- 一 選舉區又ハ選舉分會ヲ設クルモノモ此書式ニ準ス但分會ノ選舉ニ在テハ固ヨリ開票ニ關スル事項ヲ記セサルモノトス
- 一 前書式ノ事項ノ外選舉掛長ニ於テ必要ト認ムル事件アルトキハ左ノ例ニ倣ヒ其顛末要領ヲ簡明ニ記載スルヲ要ス
- 一 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛又ハ掛長ニ於テ決定セル事
- 一 同時ニ補缺員數名ヲ選舉シ前任者ノ補缺ノ順序ヲ定メタル事
- 一 選舉會開場中選舉人ニアラサルモノ會場ニ入ラントセ

廿二年

十七

シモノヲ掛長之ヲ制止シ場外ニ退出セシメシ事

一選舉人某ハ誤テ投票用紙ヲ毀損シ投票時間中會場ニテ

其交換ヲ請求セシヲ以テ引換ヘタル事

一選舉人ニアラサルモノ他人ノ氏名ヲ詐稱シテ投票セシ

トシタルヲ掛長之ヲ拒絕セシ事

甲第五號 二十三日 郡 畷

甲第六號 二十三日 郡 區町村 畷

甲第七號 二十三日 郡 區町村 畷

甲第八號 二十五日 郡 區町村

區町村ノ支辨ニ係ル堤塘使用料及ヒ道路並木敷用惡水路  
水部上等ノ貸渡料其他同上ノ並木及堤塘道路用惡水路土  
居敷居等ニ屬スル竹木拂代金ハ左項ニヨリ取扱フヘシ

一修繕費ノ全部ヲ區町村費ヨリ支辨スル箇所ノ收入ハ區  
町村費ニ於テ編入スヘシ

一修繕ハ區町村費ノ主擔ニシテ地方税ノ補助ニ係ル箇所  
ノ收入ハ區町村費ニ編入スヘシ

一區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘道路用惡水路土居敷修繕費  
及ヒ並木植繼及保護費ハ區町村費中土木費ヨリ支出ス  
ヘシ

右相達ス

甲第九號 二十五日 郡 區町村 畷

甲第十號 二十五日 郡 區町村

區町村費ノ支辨ニ係ル堤塘使用料及ヒ道路並木敷用惡水  
路水部上等ノ貸渡料其他同上ノ並木及ヒ堤塘道路用惡水

廿二年

路土居敷等ニ属スル竹木拂代金取扱ニ係ル心得左之通相  
定ム

第一項

堤塘使用及ヒ道路並木敷用悪水路水部上等ノ貸渡ヲ許  
可セシルハ當廳第一部庶務課ヨリ其時々所属戸長役場  
へ通牒スルモノトス

但從前使用及貸渡等許可ノ分ハ同課ヨリ通牒スヘシ

第二項

堤塘道路用悪水路土居敷等ニ属スル竹木其他等拂下タ  
ルトハ品目員數及ヒ代金拂受人住所姓名等書載其處分  
セシ郡區役所若シハ當廳第一部庶務課ヨリ所属戸長役  
場へ時々通牒スヘシ

但郡區役所ニテ拂下タル分ハ壹ケ年取纏メ翌年一月  
三十一日限リ當廳へ報告スヘシ

第三項

第一項第二項ノ通牒ヲ受ケタル戸長役場ニ於テハ別  
紙甲乙雛形ノ如ク土地使用及ヒ竹木其他拂下代金等記  
入スヘシ

第四項

堤塘使用料道路並木敷用悪水路水部上等ノ貸渡料竹木  
其他拂下代徴收方ハ明治十九年九月府令第拾貳號ニヨ  
リ戸長役場ニ於テ徴收スヘシ

第五項

前項ノ使用料及ヒ貸渡料竹木其他拂下代金ハ其年度ノ

廿二年

廿一

區町村費ニ編入スヘシ

右相違ス

甲

堤塘使用及道路並本敷用悪水路水部上等貸渡記入簿

此號ハ庶務課ヨリ通牒スル符號ヲ記載スヘシ

符號	年月日	所属地名	目的地	目使	用期	限	反別(坪)	貸初年	収入	願	在籍	姓名
	年											
如斯記載スヘシ	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
異動ヲ生シタルト	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
石ノ内	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
一ヶ年	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
料金何程	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
何年何月何日返地但同	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
何年一月何月	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
何程徵收	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、

此間一行ヲ明ク置ベシ

是ハ返地ノ月迄ヲ記載ス

殘反別料金	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、
、、、	、、、

乙

竹木其他拂下記入簿

是ハ處分セシ廳名ヲ記載スヘシ

廳名	所属地名	地目	品目	員數	代金	納期	収入月日	拂受人住所姓名
府廳	何村何字何筋	堤塘	枯松	何本何圓何十錢	何年何月何日限	何年何月何日限	何年何月何日收入	何村何郡
役郡(區)所	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、
、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、	、、、

廿二年

廿三


甲第拾壹號 三月 郡區町村

三等郵便局長等撰擧之儀ニ付客年七月甲第五十三號ヲ以  
テ相違候書式之内第四號之分別紙之通改正ス  
右相違ス

(別紙)

財産調書

三等郵便電信局長及身元引受人又ハ保證人ヨリ差出  
サシムル財産調書及財産減却ノ節トモ本文ニ同シ

京都府下何國何郡何町何番地何番戸

住戸主(又ハ戸主某)族

何 某

一田(畑)(宅地)何町何反何畝何歩

質入又ハ書入等ノ  
有無ヲ明記スベシ

此地券面價格金何圓  
此賣買價格金何圓

一山林(原野)全上

全 上

全

全

一建家何棟

全 上

此賣買價格金何圓

右私所有ニ相違無之候也

年 月 日

右 何 某 印

注意(田畑宅地山林原野及建家等何レモ數筆)  
アルホハ各種別毎ニ合計ヲ記載スベシ

甲第十二號 三月 十四日

郡區 愛宕葛野乙訓久世字治相  
樂南桑田北桑田船井何鹿 町村 右同上役場  
中竹野熊野各郡ハ除ク

廿二年

廿五

府令第三十二號ヲ以テ賦金規則改定シ其取扱順序別冊之  
通相定ム

右相達ス

(別冊)

賦金徵收規則事務取扱順序

第一條 規則第一條ニヨリ營業証符ハ郡區役所ニ於テ根  
帳ト割印ノ上戸長ヲ經テ其本人ニ下付シ年度了ラハ返  
納セシムヘシ

第二條 規則第二條ニヨリ徵收スル賦金ハ戸長ニ於テ其  
期限ニ差支サル様取廻メ地方稅爲換方ノ切符ト交換シ  
之ニ第一號第二號式ノ上納証書二通ヲ添ヘ郡區役所ヘ  
納ムヘシ

第三條 規則第七條第九條ニヨリ各自書出ストコロノ上  
リ金高ヲ戸長ニ於テ篤ト調査シ相當ト認定セハ各自等  
級ヲ記載シタル名簿ヲ作り右各自書出シタル書面ト共  
ニ郡區役所ニ出シ郡區役所ハ尙其審査ヲ遂ケ相當ト認  
メタル上根帳ヲ製シ更ニ郡區限リ合計(各等ノ人員ヲ)  
書面一通ヲ作り府廳ニ出スヘシ

第四條 規則第八條ノ開廢業其他異動アルトキハ郡區役  
所ハ第五號式ノ増減表ヲ製シ翌月二日限府廳ニ出スヘ  
シ

第五條 郡區役所ハ第二條ノ金額及上納証書ヲ受付根帳  
ト照査シ相違ナキトキハ該証書餘白ヘ第六號式ノ領收  
証ヲ記シ戸長ニ下付シ更ニ第一號第二號式ニ準シ書面



ヲ作リ右受付タル金額ト共ニ領收後三日限り府廳ニ送納スヘシ

第六條 郡區役所ハ賦金ヲ期日ニ完納セサルモノアルトキハ証符ヲ引揚ケ其旨所轄警察署又ハ分署へ通知スヘシ

第七條 郡區役所ハ新規開業者ヨリ戸長役場ヲ經テ其時々徵收セシ賦金ハ第三號式ノ上納証書ヲ添へ翌月二日限府廳へ送納スヘシ

第八條 規則第十二條ニヨリ全月以上休業シタルモノアルトキハ已納ノ賦金第四號式ニヨリ府廳ニ請求スヘシ

(第壹號) (用紙美濃紙)

証

一金何程

何郡(區)何(組)町賦金

内譯

金何程

娼妓ノ分

金何程

屋形小方ノ分

金何程

貸座敷ノ分

但別紙仕譯書之通

右ハ明治何年何月分賦金別紙爲換方預リ切符ヲ以テ上納候也

年號月日

右 戸長 何 某 印

郡區長宛

明治何年何月分賦金上納仕譯書

一金何程

娼妓之分

廿二年

廿九

内譯

課額	人員	賦金
----	----	----

一金何程

屋形小方之分

内譯

合	課額		人員	賦金
	娼妓	藝妓		
計				

一金何程

貸座敷之分

内譯

合	課額		人員	賦金
	娼妓	藝妓		
計				

前書之通候也

年號月日

何郡(區)何(組)町戶長 何某印

郡區長宛

(第貳號) (用紙美濃野紙)

証

一金何程

何郡(區)何(組)町賦金

内譯

金何程

貸座敷ノ分

廿二年

卅一

金何程

金何程

但別紙仕譯書之通

右ハ明治何年度上(下)半季分賦金別紙爲換方預リ切符ヲ以

テ上納候也

年號月日

右 戶長 何 某 印

郡區長宛

明治何年度上(下)半年分賦金上納仕譯書

貸座敷ノ分

一金何程

内譯

等	級	課	額	人	員	賦	金
---	---	---	---	---	---	---	---

合	下 等			中 等			上 等		
	三 級	二 級	一 級	三 級	二 級	一 級	三 級	二 級	一 級
計									

一金何程

卅二年

引手茶屋ノ分

卅三

內譯

收得金	課額	人員	賦金
合計			

一金何程

內譯

紹介人ノ分

前書之通候也

收得金	課額	人員	賦金
合計			

年號月日

郡區長宛

何郡(區)何(組)町戸長 何某印

(第三號) (用紙美濃野紙)

証

一金何程

內譯

何郡(區)何(組)町賦金

金何程  
 金何程  
 金何程  
 金何程  
 金何程  
 金何程  
 金何程

娼妓ノ分  
 屋形小方ノ分  
 貸座敷娼妓ノ分  
 全  
 引手茶屋ノ分  
 紹介人ノ分

廿二年

卅五

但別紙仕譯書之通

右ハ明治何年何月中新規開業賦金別紙爲換方預リ切符ヲ  
以テ上納候也

年號月日

郡區長

姓名印

長官宛

明治何年何月中新規開業賦金上納仕譯書

一金何程

娼妓何人

一金何程

屋形小方何軒

但藝妓

何人

一金何程

貸座敷何軒

但藝妓

何人

一金何程

貸座敷ノ分

合	何等	等級	課額	人員	賦金
	何級	何級			
計					

一金何程

引手茶屋ノ分

合	收得金	課額	人員	賦金
	計			

一金何程

紹介人ノ分

合	收得金	課額	人員	賦金
	計			

廿二年

卅七

合	計
---	---

合計金

前書之通候也

年號月日

長官宛

郡區長

姓名印

(第四號)

(用紙美濃野紙)

賦金下戻請求書

一金何程

何郡(區)何(組)町賦金

內譯

金何程

娼妓何人

但何人何々(事由記載)ニ依リ自何月何日休業至何月何日休業

金何程

屋形小方 娼妓何人

但全上

金何程

貸座敷 娼妓何人

但全上

右ハ明治何年何月分賦金已納之處全月以上休業ニ付前書金額御下戻相成度候也

年號月日

郡區長

姓名印

長官宛

(第五號)

(用紙美濃野紙)

明治何年何月中娼妓及貸座敷屋形小方引手茶屋紹介人業増減表

廿二年

卅九

名稱	等級	娼妓 ○	貸坐敷			引手茶屋 收得金	紹介人 全	屋形小方		貸坐敷	
			何					娼妓	藝妓	娼妓	藝妓
			三級	二級	一級						

前書之通相違無之候也  
年號月日

郡區長 姓名 印

長官宛

(第六號)

右正 = 領收候也

年號月日

甲第拾三號 三十八日 郡區

郡區長 姓名 印

法律第六號第二十一條ニ依リ投票用紙式ヲ定ムル左ノ如

用紙半紙堅ニツ切但シ被撰舉人多數ノモハ全紙ヲ用ユ

被	府會議員投票用紙
	撰舉人 姓名
	印

廿二年

四十一

役所印		選舉人名				

右相違ス

甲第拾四號 十九日 郡 署

甲第拾四號 全日 區 署

甲第拾五號 廿三日 郡區町村 署

甲第拾六號 廿一日 郡區町村

本年法律第一號ヲ以テ徵兵令改正相成候ニ付テハ舊徵兵

令ニ交渉ノ件取扱方左ノ通り定メラル

第一項 左ニ掲クル者ハ戶長ニ於テ徵兵事務條例施行細

則第一條ニ依リ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡區長ニ差出

サシム可シ

一 新令第四十條第四十一條ニ當リ徵集ニ應スヘキ者

二 舊令第十八條第五項第六項ニ當リ徵集猶豫中ノ者

三 舊令第十七條ニ當ル者ニシテ其資格ヲ失ヒ第十八

條第五項第六項第十九條第二十一條ニ當ル者ニシテ

其事故止ニ本年徵集ニ應スヘキ者

四 新令施行前逃亡失踪其他ノ事故ニテ翌年同シト爲

リタル者

第二項 前項ノ壯丁名簿ハ島司郡區長ヨリ大隊區徵兵署

廿二年

四十三



又ハ警備隊區徵兵署ニ提出セシム可シ

第三項 新令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期又ハ徵集猶豫中ノ者ハ別ニ壯丁名簿ヲ作ルヲ要セス從前ノ徵集猶豫名簿ヲ島廳又ハ郡區役所ニ備置キ異動ヲ生スル者アルトキハ訂正セシム可シ

右相違ス

甲第拾七號

三月廿二日

上下京區紀伊乙訓綴喜相樂北桑田 船井天田何鹿中熊野加佐與謝郡

署

甲第拾八號

三月十日

郡區町村

明治十四年七月當廳乙第三十七號郡區長委任條件中左ノ通

加除改正ス

第九條中(町村立學校諸職員)ノ七字ヲ(區町村立小學校長訓

導)ノ十字ニ改ム

第十條中(町村立學校諸職員)ノ八字ヲ刪除ス

第廿一條但書刪除

第二十三條ヲ(失踪者ノ家族他家縁組又ハ分家願ノ)但廢

嫡ニ屬スル者ハ此限ニアラス)ト改ム

第廿五條第廿六條第三十三條へ左ノ但書ヲ加フ

但廢嫡ニ屬スルモノハ此限ニアラス

第卅條但書刪除

第卅四條刪除

第卅七條刪除

第卅八條刪除

第八十八條刪除

廿二年

第九條刪除

第一百十二條中(學齡兒童就學規則ニ據リ就學猶豫願ヲ許否スルコト)ト改ム

第一百三條刪除

追加

第一百廿三條 復姓及改名願ノ事

第一百廿四條 相續權アル養子(孫)又ハ相續人離縁復籍願ノ事

事

第一百廿五條 入家ノ戸主離縁復籍願ノ事

第一百廿六條 編籍願ノ事

但廢嫡ニ屬スル者ハ此限ニアラス

第一百廿七條 庶子又ハ私生子嫡出ニ引直願ノ事

第一百廿八條 戸主失踪中其妻又ハ養(嗣)子女若クハ相續人

離縁(婚)願ノ事

第一百廿九條 失踪ノ婦妻又ハ養(嗣)子若クハ相續人離縁(婚)

(願)ノ事

第一百三十條 區町村ノ學事ニ關スル寄附願許否ノ事

右相達ス

甲 第拾九號 三十日 那區町村

告示第廿四號ヲ以來ル四月一日ヨリ町村人民諸官廳へ差出ス書面ノ住所記載方ノ義告示候ニ付テハ戶籍住所番戶ハ當分従前ノ通据置帳簿表書ハ左ノ書式ニ準據ス可シ尤モ送籍証其他ノ書面ハ右告示第廿四號書式ニ遵ヒ取扱フ可キモノトス

廿二年

四十七

表書式

何郡何町村字何々戸籍

(上下京區ハ京都市何京區元何組何町戸籍)

右相違ス

甲第貳拾號 三三 郡區町村 零

甲第貳拾壹號 四二 郡區町村 零

甲第貳拾貳號 四六 郡區 零

郡區元區長ニ委任條件第百二十一條左ノ但書ヲ增加ス

但反別ニ増減アルモノハ此限ニアラス

右相違ス

甲第二十三號 四六 郡

本年大藏省令第五號國稅徵收法施行細則第十條調定額報

告期限左ノ通相定ム (參看全 第廿七号)

一納期アルモノハ徵稅令書發付后五日以内

一隨時收入ニ係ルモノハ毎月取纏メ翌月五日以内

右相違ス

甲第貳拾四號 四三 郡區

本年法律第六号第廿一條ニ據リ徵兵參事員投票用紙式ヲ

定ムル左ノ如シ

用紙半紙豎二ツ切

甲	
徵兵參事員投票用紙	投票人名人
被撰人	

廿二年

印役所	名姓

印役所	乙	徵兵參事員補欠員投票用紙	撰舉人姓名
被撰舉人姓名		(印)	

右相違ス

甲第貳拾五號 四月十七日 郡 本年甲第廿八号ニ依リ廢  
 甲第貳拾六號 四月廿四日 郡

地租ニ關スル願及上申聽許セシモノ、内買上地及拂其下  
 他遺地免租地ヨリ有租地へ編入ニ係ルモノ等ニテ其年ノ  
 地租月割ヲ以納ムルモノヲ除クノ外ハ聽許之義別段通達  
 シ爲カス該願上申へ指令ノ際其役所ヲ經由下付スヘキニ  
 付右ニ依リ土地臺帳圖面及地租臺帳ヲ整理スヘシ

但指令ノ際圖面下付セサル者ハ別ニ收稅部ヨリ送付ス  
 へキニ付圖面訂正濟ノ上官有地へ編入ニ屬スル分ハ全  
 部へ返付スヘシ

右相違ス

甲第貳拾七號 四月廿五日 郡  
 本年四月甲第二十三号達ニヨリ調定額報告ヲナシタル後  
 所屬年度ノ出納閉鎖以前ニ於テ調定額ニ増減ヲ生シタル

廿二年

トキハ別紙様式ニ據リ調定額増減計算書ヲ調製シ其時々  
 之ヲ當廳へ送付スヘシ  
 右相違ス

(用紙美濃野紙)

第何号(此番數ハ年度中本書ノミノ順ヲ追フモノトス)

明治何年度

國 稅

調定額増減計算書

〇ハ線

地 租	租 稅	原報告額		増		減		訂正額	
		圓	錢厘	圓	錢厘	圓	錢厘	圓	錢厘

田 租	第何期分	何年何月何日付第何號	調定額計算書ノ内何々ノ	事由ニ依リ増(減)額ノ分	總 計
				一〇〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇
				五〇〇〇〇	五〇〇〇〇
				〇〇〇〇	〇〇〇〇
				一五〇〇〇〇	一五〇〇〇〇
				〇〇〇〇	〇〇〇〇

何郡長氏名印

明治 年 月 日

甲第貳拾八號 四月 廿五日 郡

本年當廳甲第二十三号送調定額報告様式更ニ別紙ノ通相

定

廿二年

但本年當廳甲第二十五号達ハ廢止ス  
右相達ス

(用紙美濃紙)  
第何号(此番數ハ年度中本書ノヨリ)  
順ヲ追フモノトス

明治何年度

國稅

調定額計算書

○ハ線

租稅		圓	錢	厘
地租				
田租				
第何期分		10000		

証券印稅				
証券印紙稅				
何月中ノ分		10000		
小切手押印稅				
何月中ノ分		10000		
手形用紙稅				
何月中ノ分		10000		
酒造稅				
醸造酒稅				
第何期分				10000
煙草稅				
第何期分				10000
何月中ノ分		30000		

廿二年

五十五

總計	印稅	
	何月中ノ分	
二五〇〇〇〇	二〇〇〇〇	

何郡長氏名印

明治何年何月何日

甲第貳拾九號 四月廿七日 郡

石川縣金澤ニ於テ明治廿一年法律第一号ニ依リ本月一日

ヨリ市制施行ニ付該市内ニ係ル所得税法施行細則第七條

ノ届書送付及第九條ノ轉居先通報ノ義全縣廳ヘ宛送致ス

ヘシ

右相達ス

甲第三拾號 五月一日 郡區町村

明治十四年七月乙第三十七號達郡區長委任條件中第廿九條

及ヒ第三十條刪除ス

右相達ス

甲第三拾壹號 五月八日 郡區

明治廿一年法律第一號ニ基キ本年四月一日ヨリ青森縣管

下弘前ニ市制施行ニ付該市内ニ係ル國稅諸營業者ノ移讓

又ハ船車賣買讓與若クハ所得稅法施行細則第七條第九條

等ノ協合ニ於テハ全縣廳ヘ宛照會スヘシ

右相達ス

甲第三拾貳號 五月十日 郡區町村

地方稅徵收事務自今第一部ニ屬ス

廿二年

五十七

但收稅長宛名ノ分本官ニ宛ツヘシ

右相違ス

甲第三拾三號 五月 郡區町村

本府徵兵事務取扱手續別冊之通り相定ム

但町村長ノ執務ニ係ル分ハ市郡ヲ問ハス舊事務引繼迄

ハ元戸長ニ於テ取扱フヘシ

右相違ス

(別冊)

徵兵事務取扱手續

第一條 徵兵事務條例施行細則第二條ノ人名書ハ第一書

式ニ據リ調製スヘシ

第二條 徵兵事務條例施行細則第三條ノ人員報告書ハ第

二書式ニ據ルヘシ

但海軍兵適當者ノ諸項ニ當ルモノハ經歷書ヲ壯シ壯

丁名簿ニ添付スヘシ

第三條 全戸逃亡若クハ失踪等ノ壯丁名簿ハ區長町村長

ニ於テ其戸籍ニ因リ調製スヘシ

第四條 區長町村長ニ於テ寄留者ノ壯丁名簿ハ住所ノ區

畫ニ全戸單身寄留ト記載スヘシ

第五條 徵兵令第廿一條二項ノ外國寄留者ノ證明書期限

内ニ差出シ難キ場合ニ在テハ郡區長ヨリ戸主或ハ親族

ヲシテ仮リニ府知事ノ證明書ヲ請ヒ其願書ニ添付セシ

ムヘシ

第六條 徵兵規程第二條第三條ノ隣保ノ者ナキ場合ニ於

廿二年



ヲハ町村長ヨリ其旨郡長ニ報告スヘシ

第七條 徵兵令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期又ハ徵集猶豫中ノ者徵集ニ關セサル異動ヲ生スルキハ町村長ヨリ郡長ニ報告スヘシ

第八條 町村長ニ於テ徵兵令第四十六條ノ届出ヲ受理シタルキハ直ニ壯丁名簿ヲ作り報告書ト共ニ郡長ニ差出シ郡長ハ壯丁名簿仮決欄内へ舊令猶豫ノ條項ヲ畧記シ大隊區徵兵署ニ提出スヘシ  
區長ニ於テ本文ノ届出ヲ受理シタルキハ直ニ其手續ヲ爲スヘシ

但抽籤後ニ係ルキハ翌年壯丁名簿ト同時ニ差出スヘシ

第九條 町村長ニ於テ徵兵規程第十七條ノ届出ヲ受理シタルキ死亡及住所氏名ニ關スル分ハ徵兵事務條例施行

細則第十八條三項ノ通知ト同時ニ郡長ニ報告スヘシ  
但本文報告書ニハ年度兵種番號等ヲ記載スヘシ

第十條 郡區長ニ於テ大隊區徵兵署開設前徵兵事務施行細則第十八條ノ報告ヲ受ケタルキハ壯丁名簿ヲ訂正加除シ他ノ徵募區ヨリ入籍シタル者ハ其事由ヲ備考區畫ヘ畧記スヘシ

第十一條 徵兵事務條例第六十三條ノ願書ニ町村長與書証印ヲナシタルキハ直ニ壯丁名簿ヲ作り郡長ニ差出スヘシ

第十二條 郡長ニ於テ徵兵事務條例第六十三條三項ノ通知ヲ受ケタル時ハ其旨直ニ本人寄留地ノ町村長ニ通知スヘシ

第十三條 壯丁ノ異動ヲ調査シ又徵兵事務條例施行細則第六條ノ場合ニ於テ体格ノ等位及兵種ヲ記注スル爲メ

郡區長ニ於テ豫メ壯丁ノ人名書式第三通ヲ作り一通ハ大隊區司令官ニ差出シ一通ハ郡區長保管スルモノトス

第十四條 郡區長ニ於テ徵兵事務條例施行細則第十三條ニ據リ旅管徵兵署へ提出スヘキ名簿及同條例第三十一條ノ終決若クハ裁決ヲ受クヘキ書類ノ表紙ハ第四書式ニ據リ其延期及猶豫人員報告表ハ第五書式ニ據ルヘシ

第十五條 臨時緊要ノ場合ニ於テ調査上差支ヘナカラシメ

メシ爲メ町村役場ニ於テ左ノ名簿ヲ調製シ異動アル毎ニ訂正加除スヘシ

一 近衛(師團)新兵名簿

一 近衛(師團)豫備徵員名簿

右二名簿ハ番號ノ順序ニ從ヒ兵種ヲ分チ壯丁名簿用紙ヲ以テ調製スヘシ

一 徵集延期名簿

一 徵集猶豫名簿

右二名簿ハ徵兵令第十八條第十九條第廿條第廿一條及處刑中等ノモノ各部類ヲ分チ壯丁名簿用紙ヲ以テ調製スヘシ

第十六條 徵兵規程第十三條ニ當ル者アル時ハ區長町村

長ニ於テ診斷書ノ寫ヲ添ヘ大隊區徵兵官ニ報告スヘシ  
第十七條 検査未済ノ徵募區ヨリ既済ノ徵募區ニ轉籍シ  
或ハ検査ノ節不參爾後事故止ニ又ハ復歸シタル者アル  
ルハ町村長ハ郡長ヲ經區長ハ直ニ大隊區司令官ヘ報告  
スヘシ

第十八條 區長町村長ニ於テ徵兵規程第十二條ニ當ルモ  
ノアルルハ本人ノ身許ヲ調査シ大隊區徵兵官ニ報告ス  
ヘシ

第十九條 區長町村長ニ於テ徵兵令第廿條及同條例第五  
十三條第六十八條并徵兵規程第七條第八條ニ據リ自活  
シ能ハサル故ヲ以テ出願スルルハ左ノ事項ヲ調査シ其  
願書ト共ニ町村長ハ郡長ヲ經テ其筋ヘ提出スヘシ

一 戶籍寫

一 職業現狀

一 財産調

一 諸般ノ收入年金

一 國稅地方稅ノ納額

但種類ヲ區分ス

一 官ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫

其他自活シ能ハサル証明ノ材料トナルヘキモノ

第二十條 徵兵事務條例施行細則第廿條ノ籤丁名簿ハ第六

書式ニ據リ郡區長ニ於テ調製スヘシ

第二十一條 抽籤名簿ハ第七書式ニ據リ調製スヘシ

第二十二條 町村長ニ於テ徵兵事務條例第六十五條ノ與書

証印ヲナシタルルハ郡長ニ報告スヘシ其事故止ムル亦

同シ

第廿三條 徵兵事務條例施行細則第四十四條ノ證書ヲ失ヒ又ハ損傷シ新タニ渡シ方ヲ請求スルモノアルルハ郡區長ヨリ府廳ニ請求スヘシ

第廿四條 徵兵適齡以前其他徵集相當者ニシテ外國へ旅行又ハ出稼等出願ノ者アルルハ區長町村長ハ徵集ニ差支ノ有無取調其願書ニ添付スヘシ

第廿五條 郡區長及町村長ニ於テ徵兵令第三十條第三十一條及同條例第五十四條第五十五條第五十八條第五十九條第六十四條第六十五條ニ當ル者ト認知シタルルハ速ニ告發シ處分濟ノ者ハ其時ニ徵兵署若クハ大隊區司

令部及監視區長へ報告スヘシ

第一書式 (用紙美濃野紙)

明治何年徵兵事務細則第二條調査人名書

重罪ノ刑ニ處セラレタル者

何郡(區)町(村)字何々

何犯ニ依リ何年何月何日無期徒刑

何ノ某

年月日生

同

何犯ニ依リ何年何月何日重(輕)懲役何年

同

同

現役豫備役服役者

同

廿二年

何年徴兵何兵何聯(大)隊ニ於テ服役中

同

同

同

何年徴兵何兵豫備役服役中

同

同

右之通相違無之候也

年月日

區(町)(村)長

氏

名

印

一 一年志願兵ニシテ現役中ノ者適齡ニ當ル者

二 令第十條志願兵ニシテ現役中適齡ニ當ル者

三 陸海軍生徒

右諸項ニ當ル者アレハ様式ニ準シ記載ノ

第二書式

(用紙美濃紙)

明治何年徴兵事務細則調査人員書

何郡(區)徵募區

一 壯丁總員

何人

内

異動壯丁

何人

前年假決者

何人

海軍兵適當者

何人

内

海員免狀ヲ受有シ海員ノ職ニ從事

何人

スル者又ハ曾テ從事セシ者

何人

漁車或ハ諸製所ノ機關手又ハ火夫

何人

ノ業ヲナス者或ハ曾テ從事セシ者

何人

舟夫

何人

漁夫

何人

木工

何人

鍛工	何人
厨夫	何人
看病夫	何人
陸軍職工適當者	何人
内	
縫工	何人
靴工	何人
木工	何人
但棒削職共	
銃工	何人
蹄鐵工	何人
鍛工	何人

鞍工 何人

一何地徵兵署檢丁 何人

内

三里未滿 何人 四里未滿 何人

五里未滿 何人

一何地徵兵檢査所檢丁 何人

内

三里未滿 何人 四里未滿 何人

、、、、、

備者 壯丁總員ノ内令第廿條出願者何人アリ

一海軍兵適當者ハ徵兵事務細則第十二條ノ諸項ニ依リ

調査スルモノトス

第三書式 (用紙美濃野紙)

明治何年何月何日検査人名書

何町(村)字何々

同

同 字何々

計 何十人

同 何日検査人名

何町(村)字何々

同 字何々

計 何十人

記載方

一住所ト姓名ノ間凡ソ二寸余ヲ存スヘシ

何 何 何  
某 某

同 何  
某

一異動先入兵ハ罫ノ欄外冒頭「異」「先」ノ一字ヲ朱記スヘシ  
一検査人名ハ一町村毎ニ順次記スヘシ  
第四書式

明治廿二年

表 師團歩兵(特科兵)輸卒

徴兵検査名簿

甲(乙)

京都(宮津)大隊區徴兵署

何郡(區)徴募區

紙





廿二年

同  
徵  
集  
猶  
豫  
名  
簿

丙

七十七

同  
徵  
集  
延  
期  
名  
簿

丙

七十六

海軍諸兵

同 徵集檢査名簿

甲(乙)

同 終決ヲ受クヘキ書類

廿二年

尾 册

京都(官津)大隊區司令官何某印  
 京都府(市)何那(區)長 何 某印

八十一

同

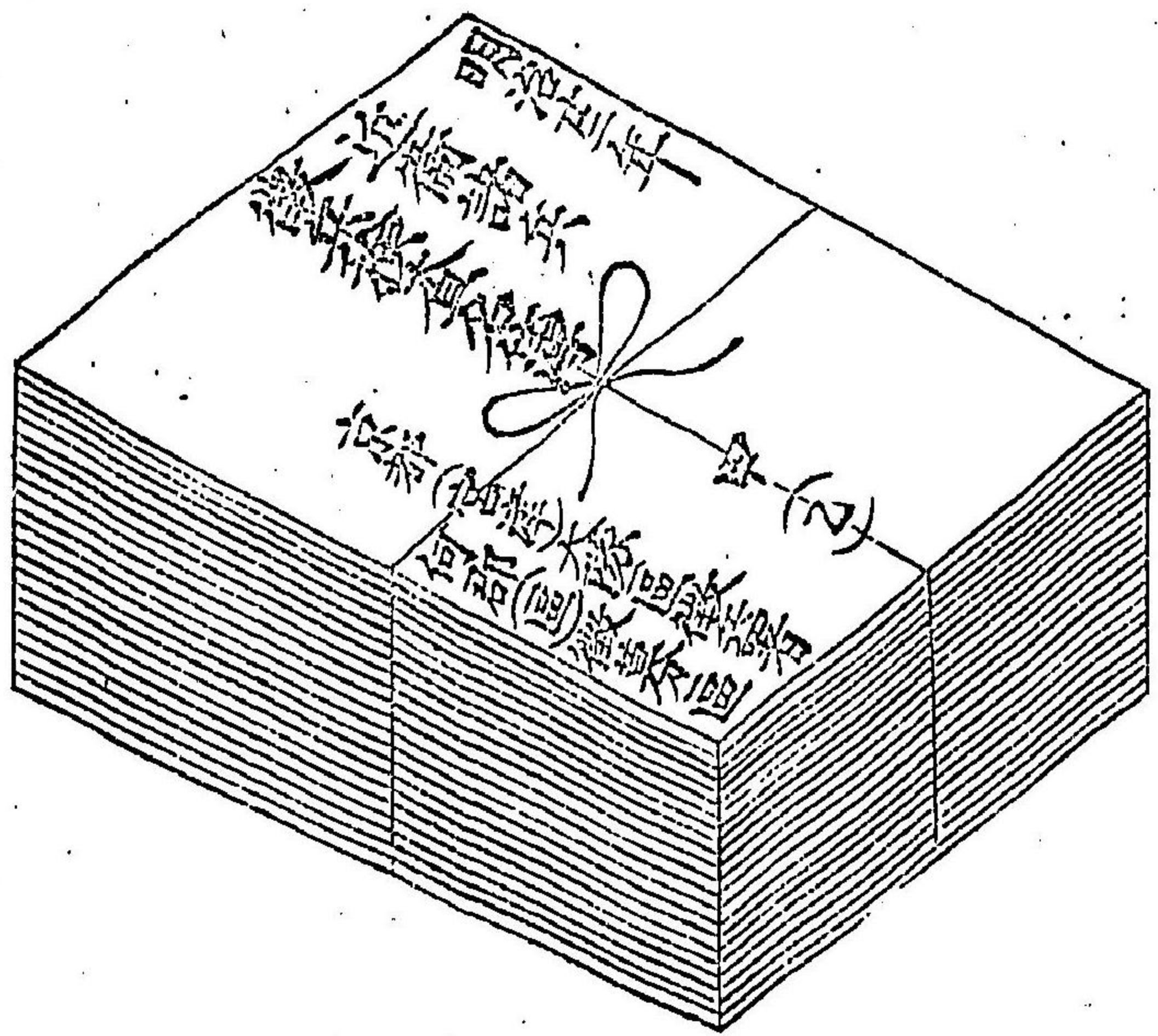
裁決ヲ受クヘキ書類

裁決ヲ受クヘキ書類

八十

- 一 兵種毎(特科兵ハ合冊)ニ甲乙別冊ニスヘシ又特科兵ハ  
騎、砲、工、輜重ヲ内譯スヘシ  
但徵募區毎ニ左圖ノ如ク甲乙二個ニ結束シ各厚紙  
ヲ其上部ニ添ヘ置クヘシ
- 二 同種ノ名簿ニテ紙數嵩ムルハ年號ノ下部ニ其一其二  
ト記シ數冊ト爲スモ妨ケナシ
- 三 終決若クハ裁決ヲ受クヘキ書類ハ各本人ノ檢査名簿  
ト合綴シ置クヘシ

圖



第五書式 (用紙美濃紙)

明治何年徵集猶豫徵集延期人員報告表

何郡(區)徵募區

種別	年	身幹短尺	疾病	裁判未決	公權停止	逃亡失踪中 (事故翌年廻) 家族自活シ能 ハサルモノ	學校生徒
	廿歳	三〇	二〇	二	三	四	
	廿一歳						
	廿二歳						
	廿三歳						
	廿四歳						
	廿五歳						
	廿六歳						
	計						

備	考	計	兵一年志願者	各國留學

一年齡二十歳以上ノ者アルルハ年齢ノ區畫ヲ增設シ而  
テ其人員ヲ合記スヘシ

第六書式 (用紙美濃白紙)

郡(區)町(村)字何々

廿二年

八十五

何 某

郡(區)町(村)字何々

何 某

郡(區)町(村)字何々全戸(單身)寄留

何 某

記載例

- 一 美濃紙全葉ニ六名ヲ限リ記載スヘシ
- 一 住所ノ頭ニ凡四寸以上ノ餘白ヲ存スヘシ

第七書式其一 (用紙厚紙)

明治何年

表

近衛(師團)新兵(豫備徴員)抽籤名簿

京都(宮津)大隊區徴兵署

何郡(區)徴募區

紙

第七書式其二

用紙郡(市)役所款名美濃野紙

何郡(區)徵募區近衛(師團)新兵豫備徵員(步)騎(砲)(工)(輜重)(同  
輸卒)兵抽籤名簿

郡(區)町(村)字何々

第壹番

何

某

令第廿八條相當

同

第貳番

同

令第卅一條相當

同

第參番

同

現役志願

同

第四番

同

以下做之

計 何人

甲第三拾四號 五月 郡町村

町村長ニ於テ町村會開會ノ告知ヲナスルハ其事項ヲ具シ  
同時ニ郡長ニ届出ヘシ又其議決ヲ得タルルキハ決議書寫ヲ  
ヘ町村制ニヨリ郡長ニ報告ス 閉會後七日内ヲ限リ直ニ  
當廳ヘ報告スヘシ

右相違ス

甲第三拾五號 五月 郡町村

町村制第百二十五條及第百二十六條ニヨリ許可ヲ請フ之

廿二年

八十九

書面ハ三通ヲ製シ郡役所並ニ當廳ヲ經由シテ差出スヘシ  
 但本件ニ係ル議決ハ本月甲第三十四號達ニ依リ報告ス  
 ルニ及バズ (本年甲第六十號ヲ以テ改正追加)

右相達ス

甲第三拾六號 廿七日 月 郡區町村

廿年三月甲第二十八號達陸軍歸休兵並ニ豫備役後備役職員  
 兵員臨時召集旅費金支出スヘキ金庫區域別表ノ通り改正  
 セラル

但愛宕郡ニ限リ本年第一期召集旅費概算表京都國庫金  
 出納所ヨリ取戻シ田中出納所へ差出スヘシ  
 右相達ス

(別表)

京都		山城									
何鹿	天田	乙訓	相樂	綴喜	久世	紀伊	宇治	葛野	愛宕	上京	下京
福知山全 綾部出納支所	福知山國庫金出納所	向日町全	木津全	田邊全	京都國庫金出納所 淀出納支所	伏見現金出納所	醍醐全	太秦出納支所	田中出納支所	京都國庫金出納所	京都現金出納所
全	第百三十國立銀行	全	全	全	三井銀行	第一國立銀行	全	全	全	全	三井銀行



丹波				丹波			
熊野	竹野	中	與謝	加佐	船井	北桑田	南桑田
全	全	福知山全 嵯山全	宮津出納支所	福知山全 舞鶴全	園部出納支所	全 周山全	京都全 龜岡全
久美濱全	網野出納支所	全	全	第百三十國立銀行	全	全	三井銀行

甲第三拾七號 五月六日 郡區町村 畧  
 甲第三拾八號 五月六日 郡區  
 明治十四年乙第三十九號達郡區長委任條件中節百廿條威

銃ノ下へ左ノ割替ヲ加フ

(愛宕郡御嶽  
場内ヲ除ク)

右相達ス

甲第三拾九號 八月六日 郡町村  
 明治十四年本府乙第三十七號達委任條件第五十三條第六  
 十條第六十一條第六十二條第六十三條第七十條第百十八  
 條第百十九條第百廿一條収稅部出張所開期ノ日ヨリ之ヲ  
 刪除ス  
 右相達ス

甲第四拾號 六月廿一日 郡町村 區 畧  
 甲第四拾壹號 六月廿七日 郡  
 廿二年

收税部出張所來ル七月一日開廳事務取扱候ニ付本月末日  
ヲ以テ出張所々管ノ事務ニ係ル帳簿書類等引繼ヲ爲スヘ  
シ

右相達ス

甲第四拾貳號 七月 郡

土地官有地ニ關スル諸願伺届等ハ所轄收税部出張所へ回  
付シ每一筆土地臺帳ト照查ヲ受ケ差出スヘシ  
但明治十四年乙第百二十三號達ハ取消ス

右相達ス

甲第四拾三號 七月 郡

客年十一月甲第八十七號達ハ本年六月三十日限り廢止ス  
(廿一年甲第八十七號登記印紙賣下料金徴収方ノ件)

右相達ス

甲第四拾四號 七月 郡

明治十四年七月乙第三十七號達郡區長委任條件中第百十七  
條及ヒ第百二十條ヲ刪除ス

右相達ス

甲第四拾五號 七月 郡

(參看本年甲第四十五號)

今般甲第四十四號ヲ以テ郡區長委任條件中第百十七條及  
第百廿條刪除候ニ付テハ右ニ關スル事務ハ都テ所轄警察  
署へ引繼クヘシ

右相達ス

甲第四拾六號 七月 郡 署

甲第四拾七號 七月 郡 町村區

廿二年

明治二十年八月甲第九十二號達改正虎列刺病豫防消毒心得書中内務大臣ノ指令ニ據リ別紙ノ通り追加ス  
右相達ス

(別紙)

生石灰ハ近時諸多ノ經驗ニ依リ虎列刺病毒ヲ撲滅スルニ十分ノ効力ヲ有シ該吐瀉物及吐瀉物ノ混入セル糞便等ノ消毒藥タルコトヲ認メタリ而シテ本品ハ價廉ニシテ之ヲ得ルニ易ク且此品ヲ以テ消毒シタル糞便ハ肥料ニ供シ毫モ危険ナキ有効ノ消毒藥ナリトス故ニ虎列刺病ノ消毒ニハ重ニ本品ヲ使用スヘシ  
一 石灰乳 生石灰一分ハ虎列刺患者ノ吐瀉物等ニ於ケル消毒藥トシテ從來強石炭酸水、稀硫酸、昇汞水、格魯兒石灰水

等ヲ用ヒタル場合ニ換用スルヲ得

- 一 本品ヲ製スルニハ一分ノ生石灰ト二十分ノ水トヲ和シ能ク攪拌スヘシ 生石灰ハ水ニ觸レテ忽チ水蒸氣ヲ發スルモノヲ用フヘシ
- 一 本品ハ成ルヘク用ニ臨テ製スヘシ製後日ヲ經タルモノヲ用フルトキハ能ク之ヲ攪拌スヘシ
- 一 本品ヲ以テ吐瀉物糞便等ヲ消毒スルニハ其量ノ十分一ヲ投シ攪拌スヘシ
- 一 本品ヲ以テ消毒シタル糞便ハ一週間ノ後普通ノ糞便全クナシ
- 一 糞肥料ニ供スルヲ得且其便所ハ消毒後上厩スルモ妨ケナシ

家屋ノ消毒法ニハ從來亞硫酸熏蒸ヲ用ヒタリト雖モ左ノ諸項ヲ以テ之ニ換用スルモ可ナリ

一 患者居室及其他消毒ヲ必要ト認ムル室ニハ強石炭酸水  
 又ハ石灰乳ヲ以テ之ヲ拭淨シ疊、建具等ハ能ク日光ニ曝  
 シ其室内ニハ十分ニ大氣ヲ通セシムヘシ  
 一 室内ノ器具物品ハ強石炭酸水又ハ石灰乳ヲ濯キテ拭淨  
 シ其消毒藥ヲ用ヒ難キモノハ乾布ニテ丁寧ニ之ヲ拭フ  
 ヘシ但其乾布ハ用紙消毒又ハ燒却スヘシ  
 甲 第四拾八號 七月 區  
 市部地方税賦課徵收事務取扱順序別紙ノ通相定ム  
 右相違ス

(別紙)

市部地方税賦課徵收事務取扱順序

第一章

總則

市條第一部地方税賦課徵收事務ハ下條ノ順序ニ遵ヒ取  
 扱フ可シ  
 但税金收納順序ハ別段ノ達ニヨル可シ

第二條 各種税目中其業体ニヨリ編入税目ノ區分相立難  
 キモノ其他取扱上疑似ニ涉ル廉ハ其詳細ヲ具シ必ス指  
 揮ヲ乞フ可シ

第三條 營業標牌ハ鑑札下付シタル後十五日以内區役所  
 ノ改印ヲ捺シ揭示セシメ區内揭示終ラハ其旨申告スヘ  
 シ

第四條 區長ハ時々主任ノモノヲ派遣シ税金徵收其他脱  
 税者ノ有無ヲ監査セシム可シ此場合ニ於テハ營業ノ景  
 況賦税ノ當否等詳細具申ス可シ

第五條 當廳ヨリ臨時主務官ヲ派遣シ營業者ノ等級及税金徵收脱稅者ノ有無其他取扱上ノ當否ヲ監査セシムルコトアル可キニ付豫テ諸簿冊類錯亂セサル様整理シ置ク可シ

第二章 等級査定

第六條 凡各業ノ等級ヲ定ムルハ營業人申立ノ上リ金高等ニ據ルト雖日常ニ注意シテ其當不當ヲ調査シ若不相當ト認ムルモノアルハ雜則第七條ノ手續ヲ爲シ必ス正當ニ歸セシムヘシ

第七條 各種營業ノ上リ金高若クハ坪數等ハ左ノ業目ノ下ニ掲クル各種類ヲ合算シテ其等級ヲ定ム可シ

一 商業 賣上金口錢手數料貸料貸付金ノ類共

- 一 工業 工料製作料自製品賣上金ノ類共
- 一 待合茶屋 席料其他飲食料ノ類共
- 一 芝居茶屋 棧敷料其他飲食料ノ類共
- 一 湯屋 湯壺ノ内法坪數ヲ量リ二壺以上ヲ構ユルモノハ各壺ノ坪數共
- 一 人寄席 土間二階三階ノ別ナク總テ見物用ニ供スル場所ノ坪數

右ノ外上リ高ヲ以テ算スルモノハ全ク收受スル金額ニヨルヘシ

第八條 課目課額ニヨリ各種營業ノ等級ヲ定ムルハ豫テ該町内營業者ノ住所姓名業名并ニ前年度ノ等級ヲ定メタル上リ金高ヲ記載シタル帳簿ヲ製シ置雜則第一條ニ

ヨリ各自ヨリ差出ス上リ金高其他ノ當否ヲ點檢シ相當ト認定セハ各人名ノ頭ニ其相當等級ヲ朱記シ速ニ根帳調製鑑札下付ノ手續ヲナシ税金徴收ノ備ヲナスヘシ但上リ金高不相當ト認め難則第七條ノ手續ヲナシタルトキハ其人名ノ左側ニ其事由朱記シ置當廳主務官派出ノ節點檢ノ便ニ供スヘシ

第三章 根帳編成

第九條 各種營業中等級アルモノハ前條ノ調査終リ其等級ヲキモノハ該調査ニ拘ハラヌ第一號式ノ根帳ヲ調製スヘシ

第十條 前條根帳ノ外別ニ第二號式ノ帳簿ヲ製シ毎月開業廢業等異動ノ員數ヲ記入シ每期税金ノ徴收及第二十

條ニ掲クル増減表調製ノ便ニ供スヘシ

第四章 鑑札授受

第十一條 前條ノ手續終ラハ鑑札ハ第三號式ノ如ク根帳ト對印ノ上本人ニ下付スヘシ

但賣藥受賣及行商人ヘハ別ニ鑑札ヲ下付スルニ及ハス

第十二條 各種營業者ニシテ數種兼業スルモノヘハ各別ニ鑑札ヲ下付シ遊藝師匠遊藝稼人相撲俳優帶間藝妓ニシテ此數業ヲ兼スルモノ及料理屋飲食店ヲ兼スルモノヘハ鑑札一枚ヲ付與ス可シ

第十三條 新規開業者ヨリ營業鑑札申出タルハ其見積金又ハ坪數等其審査ヲ遂ケ相當ト認定セハ直ニ第十一

條第十二條ニ照シ鑑札ヲ製シ本人ニ下付シ此際雜則第

二十一條ニ據リ直ニ納稅セシムヘシ

但上リ金見積高不相當ト認ムルハ其營業ノ目的方

法仕込金高等詳細審問シ相當ニ歸セシムヘシ

第十四條 雜則第十一條ニヨリ代換轉居等ノ爲メ鑑札訂

正ヲ乞フルハ可成其鑑札ヲ訂正シ主任認印ノ上下付ス

ヘク又ハ鑑札遺失等ニ付再渡ヲ請フモノアルハ同條

ニヨリ之ヲ付與シ其月稅ニ係ルモノハ遺失ノ月日場所

等ヲ詳記シ及其寫ヲ添ヘ速ニ當廳ヘ具申スヘシ

但遺失ノ鑑札發見ノ節ハ其旨届出ヘシ

第十五條 他府縣下ノ者府下ニ於テ營業ノ爲メ鑑札申出

タルハ之ヲ下付シテ苦シカラスト雖モ必ス所轄内ニ

一家ヲ爲シタルモノヲ以テ引請人相立サセ之ヲシテ納  
稅ニ關スル一切ノ責任ヲ負ハシムヘシ

但他郡區ノ者ト雖モ本條ニ準據スヘシ

第五章

課稅區分

第十六條 人寄席ニ於テ淨瑠璃祭文講釋ノ類ヲ演スルモ

ノ若クハ諸鳥獸諸細工硯眼鏡等ノ類課稅區分ハ十五年

乙第百七號達ニ依ルヘシ

第十七條 寺院ヲ借受ケ或ハ民家等ニ於テ一時淨瑠璃祭

文講釋等ヲ演シ木戸錢機敷料等ヲ收ムルモノハ興行稅

ヲ課ス可シ

第十八條 地租割戸數割ヲ賦課ス可キ三月一日九月一日

各現在ノ地租戸數ハ區長ニ於テ調査シ其三月十日九月

十日限り第四號式ノ書面ヲ以テ申告シ更ニ各自ノ賦課額ヲ算出シテ税金ヲ徴收ス可シ

第六章 免稅審查

第十九條 商工業及飲食店理髮人ノ細業ニシテ免稅及減稅ハ其上リ金高及業名ヲ記載シタル本人ノ願書ニ比隣同業者(同業者者ト雖モ若シホハ異業)二名以上連署セシメ所轄内有稅者中最モ細業ノ者ニ比較審查ヲ遂ケ若クハ實地ニ就キ調査シ第五號式ニ準據シ意見ヲ添申シ當廳ニ出スヘシ

第七章 異動申報

第二十條 閉廢業其他異動アル時ハ速ニ各其根帳ヲ訂正シ其月分翌月二日限第六號式ノ増減表ヲ以テ申告ス可シ

シ若シ増減ナキトハ其旨報告スヘシ

第壹號 (年稅ニ係ルモノハ此例ニ倣ヒ其順序ヲ逐ヒ列記スヘシ)

④商 業 之 部 ④何				④區 區						
				④區役所鑑札ト割印スヘシ ④(兼) 何 業 ④賣品ノ種類毎ニ別記スヘシ ④上リ金高 開業 來信 廢業 轉居 ④何 某						



廿二年

五月	四月	月別一日現在	廢業	轉居	訂正減	開業	訂正増	來住	發見

第貳號

日稅上り高及船車ノ分ハ各種類ニ應シ適宜簿冊ヲ調製スヘシ

月稅ニ係ル分ハ稅目限リ其順序ヲ逐ヒ此例ニ倣ヒ調製スヘシ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

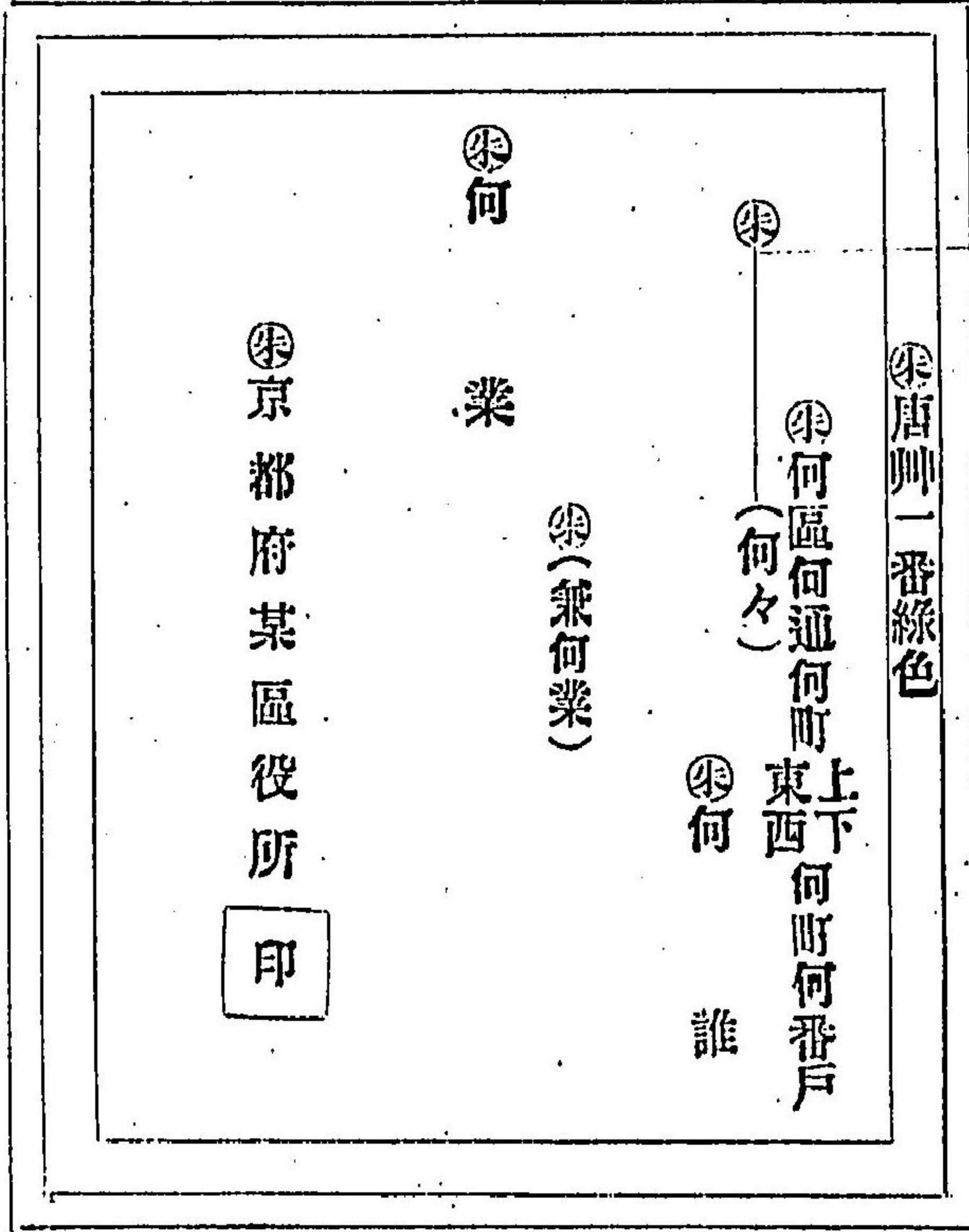
	業	何	業	事由	何々	轉居	廢業	來住	請業	何	區		
												業	何

		何業等										
合	小	三	二	一	十二	十一	十	小	九	八	七	六
		月	月	月	月	月	月		月	月	月	月
計	計						計					

第三號

用紙西洋紙  
真綿入漉

表面  
三川



漢名アルモノハコ、ニ記スヘシ

堅五寸

唐一 番綠色

何區何通何町上下何町何番戶

(兼何業)

業

何

京都府某區役所

印

廿二年

裏面

其年度ノ証印ナキモノハ無効トス	年度	年度	年度	年度	年度	年度	改正年度
	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	下付改正年度番号
	号	号	号	号	号	号	月税金

④ 俳優ノ分月税  
欄上等下等ノ  
二字ヲ加フ

裏面

④

其年度ノ証印ナキモノハ無効トス	年度	年度	年度	年度	年度	何年度	改正年度
	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	年月日第	下付改正年度番号
	号	号	号	号	号	号	等級
	等	等	等	等	等	等	年税金

根帳副印

④ 唐卿墨色

裏面

第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	下付年月日 番 号	許可期限 日 税
年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	第 年 月 日	下付年月日 番 号	許可期限 日 税
年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

第四號

用紙美濃界紙

明治何年 三月一日 現在地租調			
組 名	地	租	戸 數
合 計			

三月一日九月一日ニ於テ已ニ起返リ地等ノ地價未定ノ分アルトキハ此合  
計ノ欄外ニ其事由ヲ詳記シ追テ徴收スルモノアルコトヲ明ニスヘシ

被救助人アルトハ合計ノ欄外ニ外何戸被救助人ト朱記スヘシ

書面之通相違無之候也

年號月日

何區長姓名

印

廿二年

長官宛

第五號 用紙美濃界紙

細業人地方税免税(減税)願出ニ付具中

業名	上高又(見積高)	事	實	住	所	姓	名
		御本人願書ヲ區長ニ於テ 審査シタル事實ヲ此ニ記 ス可シ					
備考	本人ハ何業ヲ兼テ其上リ金高何程ニシテ何等税ヲ納メ本業ノミ免 (減)税出願又ハ何業ヲ兼ヌルト雖トモ上リ金高何 (減)税出願ニ付則チ何業ノ部ニモ本人名ヲ載スノ類ヲ詳記スヘシ						
小計	○		○				

小計	合計
○	○

右地方税免税(減税)事實審査ヲ遂候處前書之通ニシテ相當  
(不相當)ノ者ト相認メ候條免(減)税ノ御詮議相成度(難相成乎)  
本人共願書相添此段具申候也

年月日

長官宛

何區長姓名 印

第六號

本表ハ年度初月ハ一日現在員ヲ列記シ次月ヨリハ其増減アルモノ、ニ記載スヘシ

明治何年何月分營業雜種税目各業増減表

年税之部

廿二年

百十七

業名等級	本月一日廢業轉居訂正減開業訂正增來		住員	翌月越數
	住	廢業轉居訂正減開業訂正增來		
商				
業				
小計				

年税ニ係ル分ハ各業目ノ順序ヲ逐ヒ此式ニ倣ヒ記載シ賣藥ハ等級欄内ヘ請賣行商ノ區分ヲ記載シ水車ハ等級ノ欄内ヘ四日以上〇挽日ノ二種ヲ區分シ揚載シ減税ニ係ルモノアルハ等級欄内減税ト記シ人員ヲ揚ケ船車ノ流失紛失變體増減ハ適宜製表スヘシ

月稅之部	
遊藝師匠	遊藝師匠
業名	本月一日現在
廢業	轉居開業
來住	翌月越員數

④ 遊藝師人以下此例ニ倣ヒ順次列記ス可シ  
書面之通相違無之候也

年號月日

長官宛

何區長姓名印

甲第四拾九號 七月十日 郡、町村、區

明治十八年十二月乙第二百六號達中左ノ通改正シ來ル七月二十日ヨリ施行ス

○種痘醫心得中

第三項 細則第七條ノ屆ヲ受ケタルトハ種痘名簿ニ照シ書換又ハ檢痘ノ上証書ヲ付與シ屆書ヘハ其事由ヲ記シ保存スヘシ

第五項 中戸長役場ノ四字ヲ削リ市トアルハ京都市ハ區役所郡ハ町村役場トス

戸長役場取扱心得ヲ市ノ區役所町村役場心得トシ全

廿二年

百十九

心得中

第一項 市ノ區長及ヒ町村長ハ種痘細則第一條第二條ニ據リ部内種痘醫定員ノ二倍ヲ撰擧シ履歷書ヲ添ヘ推薦スヘシ

但町村長ハ定員ヲ定メ且ツ其推薦書ハ郡役所ヲ經由スヘシ

第二項 削除

第四項 本文及ヒ但書中第八條ヲ第九條トス

第七項中當廳ノ二字ヲ削リ市ハ當廳第二部郡ハ郡役所ヲ經テ當廳第二部ヘトス

第八項中郡區役所ヲ經テ當廳ヘノ十字ヲ削リ市ハ當廳第二部ヘ郡ハ郡役所ヲ經テ全部ハトス

第十項中郡區役所ノ四字ヲ削リ市ハ當廳第二部ヘ郡郡役所トス

郡區役所取扱心得及ヒ第一項郡區ノ區ノ字ヲ削リ全項第二項中戶長ノ二字ヲ削リ町村長トス

第一號種痘証書式戶長ノ檢印ヲ市ハ區長郡ハ町村長ノ檢印トス

第二號明細表書式備考ノ戶長ハ其町村ノ六字ヲ削リ市ノ區長又ハ町村長ハ其部トシ郡區ノ區ノ字ヲ削ル

右相違ス

甲第五拾號 二十七日 郡、町村、區、署

甲第五拾壹號 二十七日 郡、町村、區

土地臺帳及土地所有者名寄帳ノ異動ハ左ノ區別ニ從ヒ整

廿二年

理スベシ

一土地異動ニ關スル願上申ヘノ指令其役所役場經由下  
付之際該指令ニ依ルベシ

但至急ヲ要スルモノニテ經由シ難キモノハ市ハ本  
廳收稅部町村ハ收稅部各郡出張所ヨリ通知ニヨル  
ベシ

一土地所有者并質取主住所氏名ノ異動及潰地ニシテ工  
事着手ノ月ヨリ地租組織ニ係ルモノハ其工事着手等  
各屆書其役所役場經由進達之際該屆ニ依ルベシ

一土地所有ノ移轉及買上地潰地等之内反別歩位未滿之  
端數ニ付シアルモノニシテ(市街宅地)其端數切捨土地  
臺帳面除却スヘキモノ市ハ本廳收稅部町村ハ收稅部

各郡出張所ヨリ通知ニ依ルベシ

右相達ス

甲第五拾貳號 廿二月 郡、町村、區、

本府明治十六年 乙第二百四十号達但書中「有無共」ノ三

字ヲ削除ス

右相達ス (十六年乙第百四十七号曾テ海軍服役ノ者ニ)

甲第五拾三號 廿三月 郡、町村、區、

明治十六年 當府乙第百八十七號達ヲ廢ス

右相達ス (願出ルモノアルト具狀書ヲ添フルノ件、イナ)

甲第五拾四號 廿七月 郡、區、略

甲第五拾五號 廿八月 郡、町村、區、

客年當廳甲第八十九號達諸願屆書式別紙土地所有者質取

廿二年



主任所氏名異動届及土地臺帳謄本請求書ノ書式ヲ追加ス  
右相違ス

土地所有者(質取主)住所(氏名)異動届

京都市何區何通何小路<sup>上ル下ル</sup>東入西入何町

所有者 何 某

何府縣何郡何町(村)字何

質取主 何 某

④所有者(質取主)轉住

④何府(縣)何郡(市)(區)何町(村)字何

所有者(質取主)改姓(名)

何 某

京都市何區何通何小路<sup>上ル下ル</sup>東入西入何町何番地

一市街宅城何坪何合何勺

何郡何町(村)字<sup>大</sup>何<sup>小</sup>何々何番地

一田何反何畝步

(幾筆アルモ此例ニ依リ列記スヘシ)

右異動及御届候也

右

年 月 日 所有者(質取主) 何 某 印

京都府知事北垣國道殿

土地臺帳謄本請求書

京都市何區何通何小路<sup>上ル下ル</sup>東入西入何町何番地

一市街宅地何坪何合何勺

何郡何町(村)字<sup>大</sup>何<sup>小</sup>何々何番地

廿二年

一畑何畝何歩

(幾筆アルモ此例ニ倣ヒ列記スベシ)

右土地臺帳謄本下付相成度手数料相添此段請求候也

京都市何區何通何小路<sup>上ル下ル</sup>何町何番戶<sub>東入西入</sub>

(何郡何町村字何々何番戶)

年 月 日

何 某 印

京都府知事北垣國道殿

甲第五拾六號<sup>八月四日</sup> 郡、町、村、區、界

甲第五拾七號<sup>八月八日</sup> 郡區

此般法律第二十二号ニ據リ其郡區田畑地價修正總額左記  
之通有之右ニ依リ各町村修正額大藏大臣ニ於テ別紙<sub>收稅部</sub>  
ス<sub>リ</sub>送付<sub>之</sub>通ニ定候條各町村へハ別紙ヲ以テ及達ス

右相達ス

左記畧ス

甲第五拾八號<sup>九月二日</sup> 郡町村

明治十九年<sup>三月</sup>乙第六十六号達ヲ廢止ス

右相達ス (十九年乙第六十六号道路通行止メノ件)

甲第五十九號<sup>九月二日</sup> 町村

道路橋梁開鑿架設修繕等ノ爲メ車馬通行止又ハ往來止ヲ  
要スル時ハ其區域場所ヲ定メ榜示建設ノ義ヲ所轄警察署  
又ハ分署ニ請求スヘシ

但シ榜示費ハ工事費中ヨリ支辨スヘシ

右相達ス

甲第六拾號<sup>九月三日</sup> 郡町村

廿二年

本年甲第三十五号達中書面ハ三通トアルヲ二通ト改メ其  
下(人口壹万以上)トノ割註ヲ加フ

右相達ス

甲第六拾壹號 九月 郡、町村、區、 畧

甲第六拾貳號 九月 郡 畧

甲第六拾三號 九月 郡、町村、區、 畧

甲第六拾四號 九月 郡

明治十九年當廳乙第百三十四號達別冊ノ通改正ス

但町村費ニ係ル工事ハ本達ニ拘ハラヌ適宜取扱フ義ト

心得ヘシ

右相達ス

(別冊)

請負取扱概則

第一條 請負法ヲ別テ左ノ三種トシ凡テ規約ヲ以テ取扱

ヘシ

第一 一般入札

第二 指名入札

第三 特選

第二條 工事及之ニ附帶スル物品購入等ノ請負ハ公告シ

テ一般ノ入札ニ付スルヲ通例トシ其種類ニヨリ又ハ至

急ヲ要スル場合其他豫算額百圓以下ノ請負ハ時宜ニヨ

リ三名以上ヲ指名シテ入札セシメ尙其必要アルトキハ

特選請負ニ付スルコトアルヘシ最モ凡テ例外ノ請負ニ付

セントスル所ハ常置委員へ本件諮問案ノ但書ニ其事由

廿二年

百廿九

ヲ附記スルモノトス

但豫算金高拾圓未滿ノ工事又ハ物品購入ニ付テハ請負規約ニヨラス簡便ノ取扱ヲナスモノトス

第三條 入札公告ノ方法ハ其開札迄ニ相當ノ間合ヒテ見積新聞紙及便宜ノ場所ニ揭示スヘシ

但新聞紙ノ廣告ハ通常一新聞ヘ三日間トシ其經費ノ稍ヤ多額ナルモノ其他必要ノ場合ハ他ノ新聞ヘモ相當ノ日數間廣告スヘシ

廣告凡例

入札廣告

一何々

右入札請負望ノ者ハ府廳受付所(又ハ某所)ニ就キ請負規約及工事仕様帖熟閱該帖ヘ記名調印ノ上現場ト對照何月何日何時限何所ニ有之入札函ヘ投票スヘシ

但何月何日何時入札人面前ニ於テ開札ス

京都府第二部

年 月 日

土 木 課

第四條 請負人ヲラントスルモノハ其最初ニ該規約了知シテ爲メ及入札毎ニ其仕様帖等ノ了知ヲ証スル爲ニ記名調印ヲナサシム其仕方左ノ如シ

廿二年

百卅一

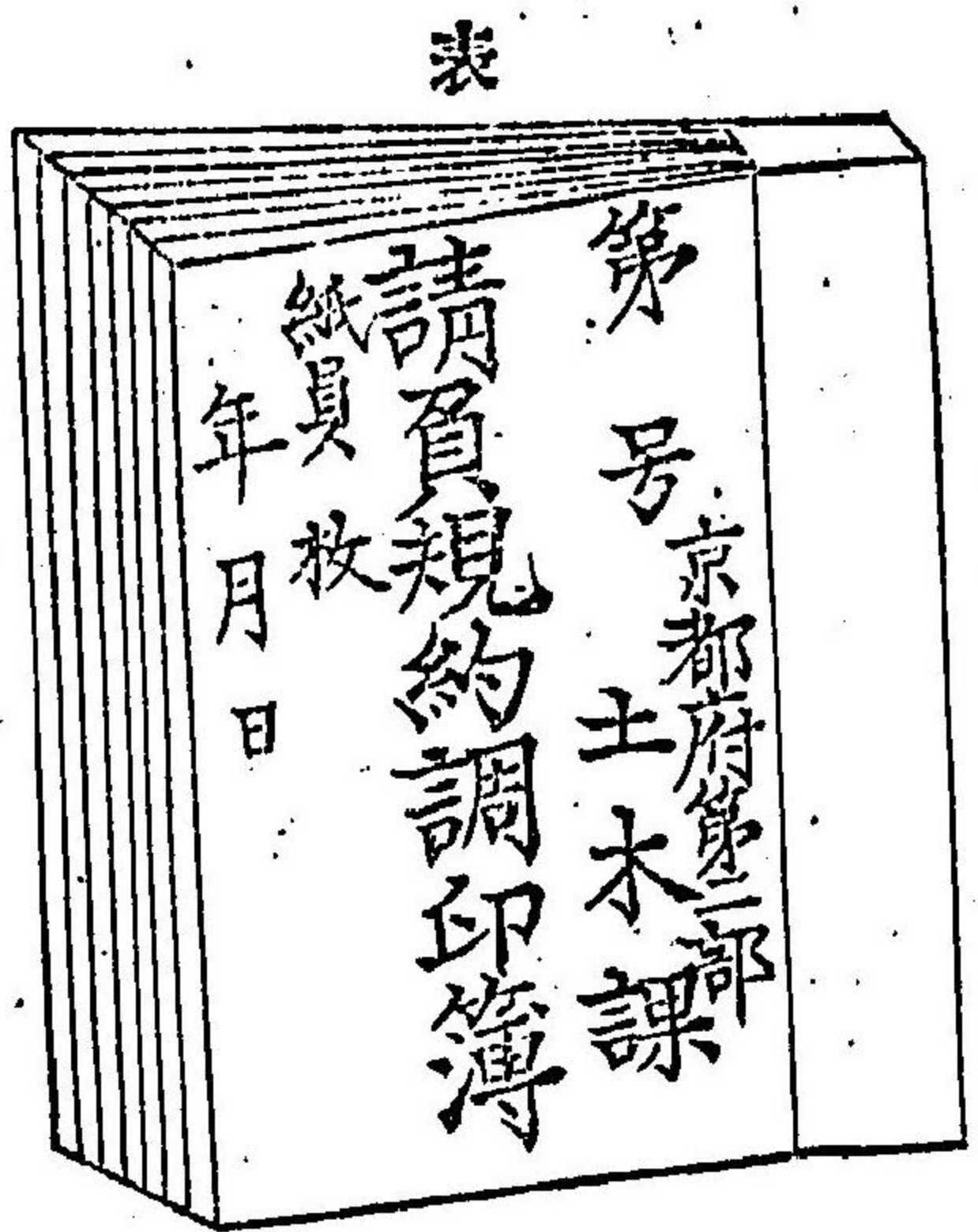
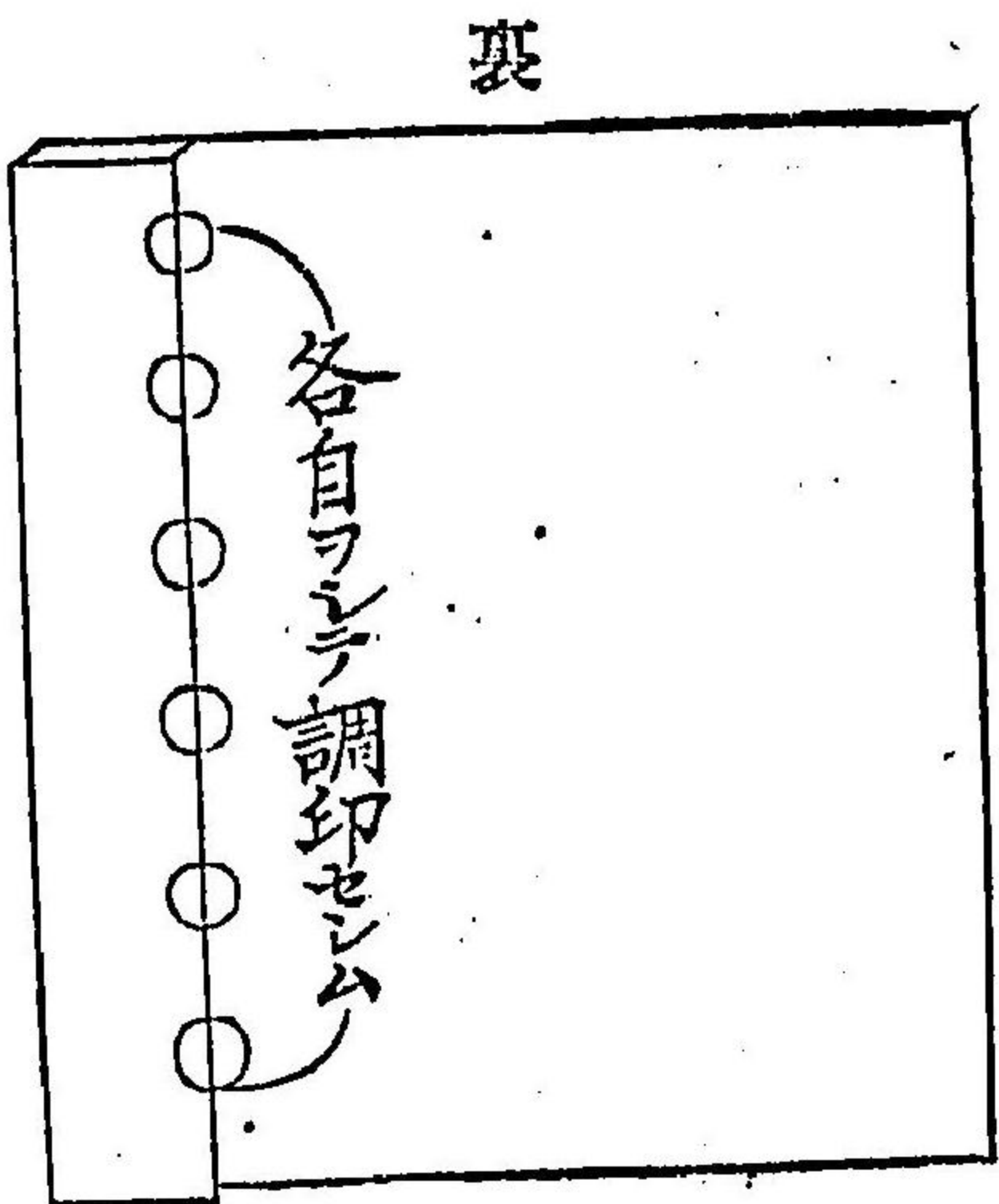
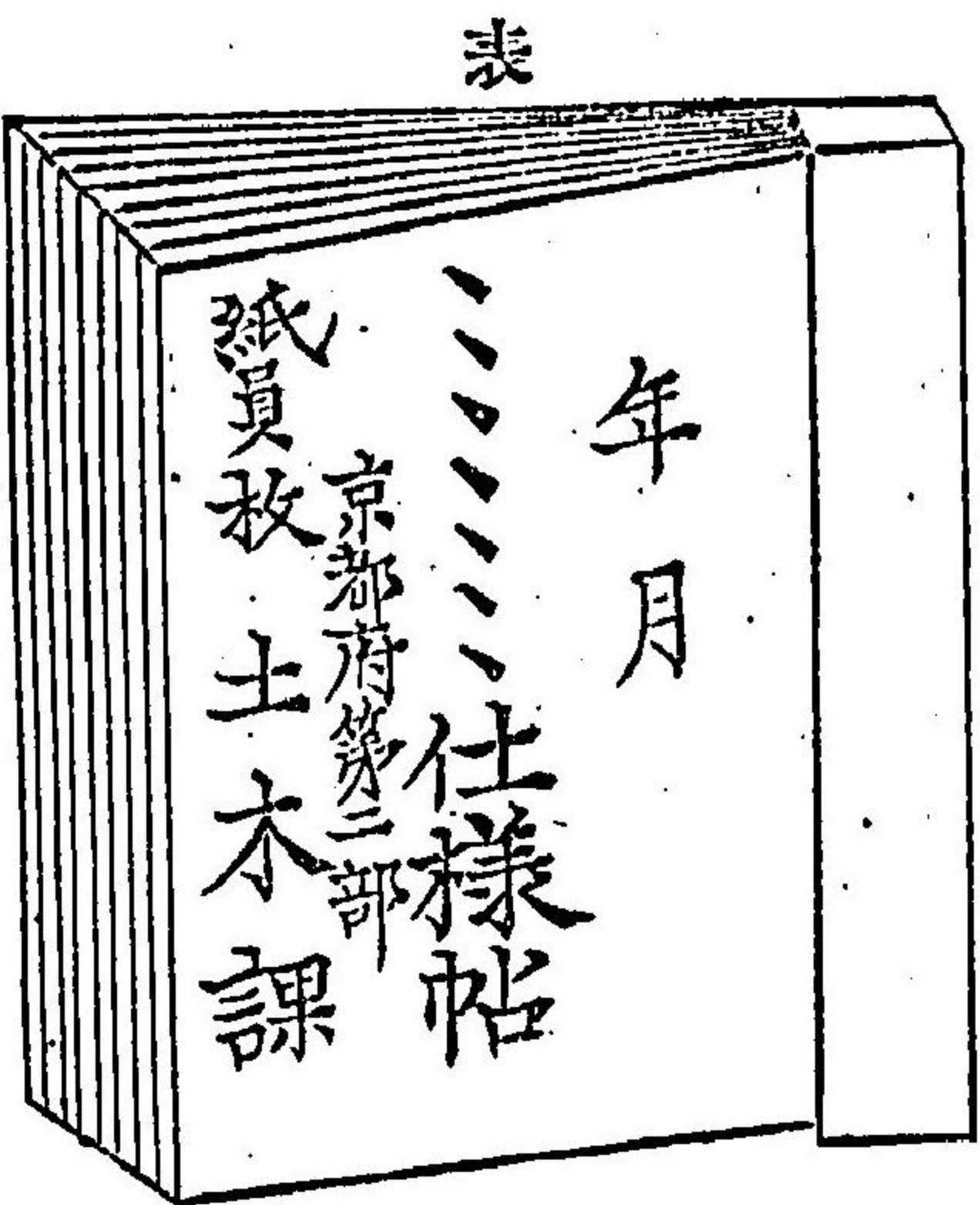


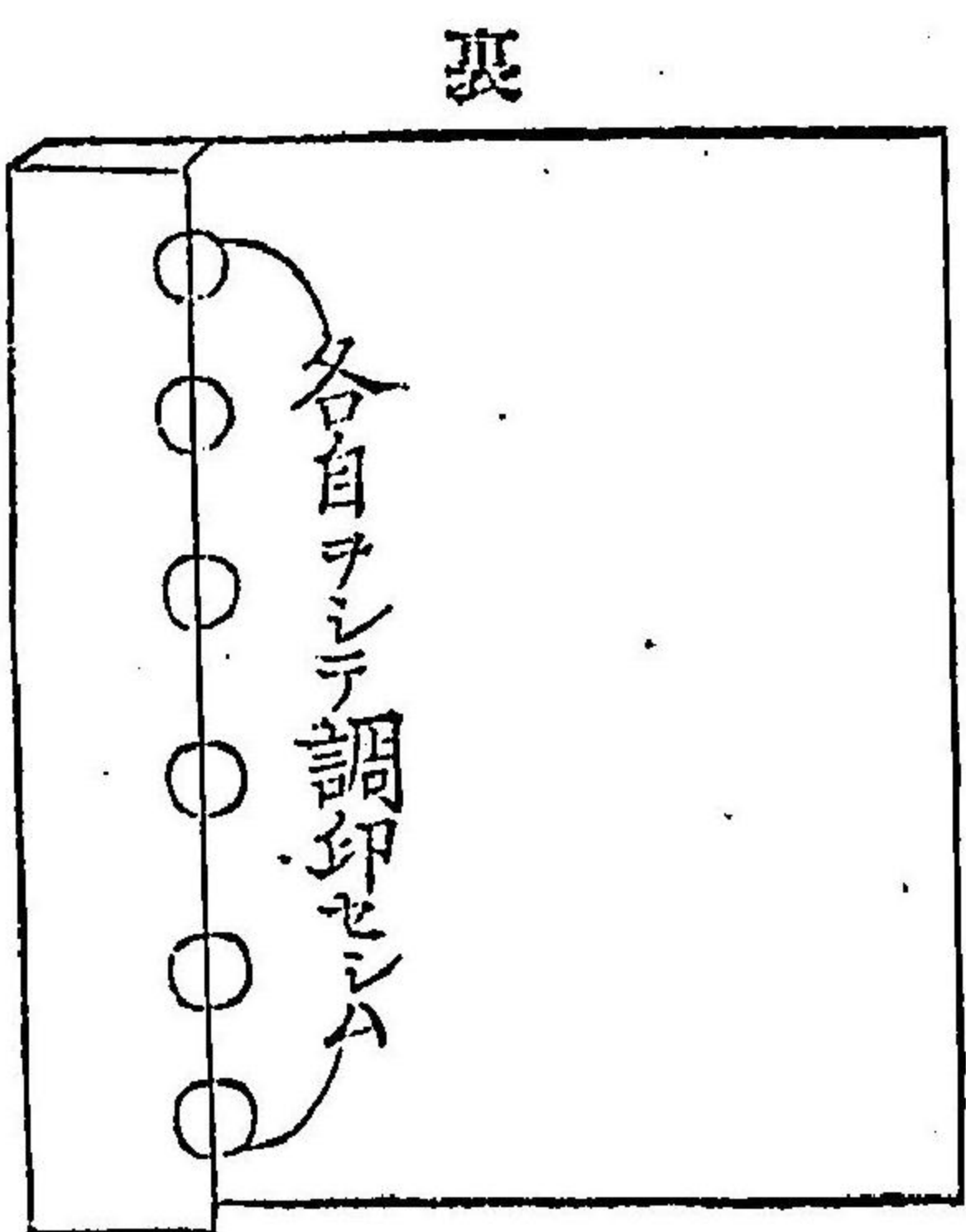
表  
 (規約調印簿ハ餘紙ヲ存シ置追々ニ記入セシム其奥書  
 左ノ如シ)



右當御廳請負規約了知候也  
 (寄留)寄留人ハ本籍ヲモ併記ス  
 何府縣 何市區町 何番地(或ハ何番戸)  
 何郡村町大字



仕様帖奥書左ノ如シ  
 右御仕様了知候也



肩書前同斷

何 某 印  
 百廿三

第五條 一般入札及指名入札中其低札ノ者ヲ官ヨリ取消  
又ハ本人ヨリ取消ヲ求メ或ハ請負解止ノ場合ニ於テハ  
順次低札ヲ取用シテ請負ヲ定ムルモノトス

但其次番札ニ當ル價格不當ナリト視認ル場合ニ於テ  
ハ更ニ入札又ハ特選等ノ手續ヲ行フヘシ

第六條 請負ノ取極ヲ通知スルト及内譯明細書差出期限  
ヲ本人ニ通知スルニ書面ヲ以テスルトキ郵便ハ書留ニ  
ナシ直使ナルトキハ受取証ヲ取リ本人へ面達ノ場合ハ  
受書ヲ取ルヘシ

但第七條ニヨリ府廳外ノ各廳等へ保証金ヲ差出サシ  
ムル場合ハ其納所ヲ本條ト併セテ通達シ且其廳へモ  
豫報スヘシ

第七條 請負ノ保証金ハ府廳直管ノ請負ニ係ルモノト雖  
モ遠隔ノ地ニ於テハ最寄ノ各廳等ニ保管ヲ托シ請負証  
書ハ府廳へ領置ス

第八條 他人所有ノ公債証書又ハ預金証書(何時ニテモ所  
得ル事柄ヲモ記)ヲ以テ保証金ニ充テントスルモノハ其  
權利者ヨリ使用方承諾ノ証書ヲ添付セシム

公債証書ノ價格ハ當廳地方稅爲替方ニ抵當ニ依準ス

第九條 第二部土木課ニ管スル請負ノ保証金ヲ開札ノ際  
差出サシムル場合ハ同部會計課員出場ノ上領収ノ取扱  
ヲナスモノトス  
但各郡ニ於テスル場合ハ郡衙ノ收支係へ本條ノ取扱  
ヲ委託スルモノトス

第十條 至急ヲ要スル工事ノ竣成購入品ノ納了期限ハ其仕様帖又ハ品目書ノ末へ豫示スヘシ

第十一條 請負規約ニ抵觸シテ其入札ヲ取消又ハ請負ヲ解止セントスルルノ立案ハ關係ノ各部課廻議ノ上知事ノ裁定ヲ請ヘギモノトス

請負規約

第一條 此規約ハ各般工事及之ニ附帶スル物品購入等ノ請負ニ施用スルモノトス

第二條 請負人ヲラント欲スルモノハ此規約書ノ奥ニ記名調印ノ上左ノ書式ニ倣ヒ先ツ届書ヲ出スヘシ  
但會社組會等ニテ請負ヲ欲スルトキハ其社長頭取等ノ姓名ヲ以テ届出ヘシ

御届書

何府縣何市區町  
何郡町村大字何番地(或ハ何番戸)  
(寄留)(寄留人ハ其本籍ヲ併記ス)

一職業何々

何 某

印鑑 (實印)

右請負規約第二條ニヨリ御届申上候也

年 月 日

右

何 某 印

年 齡

府知事宛

右戸籍(寄留人ハ戸籍)印影相違無之候也

某區役所印

某町村役場印

第三條 第二條ニヨリ届出ノ後移居轉籍シ又ハ印影ヲ改

ムルトキハ更ニ同式ノ届書ヲ要ス

第四條 入札書式ハ左ノ通トス

入札書

一金何程<sup>④</sup>

但何々修繕、建築、何品、調達、金高

右請負規約并工事仕様帖現場(或ハ品目帖見本)熟

知ノ上入札候也

肩書前同斷

年 月 日 入札人 何 某 印

府知事宛

第五條 公告シテ競争ニ付シタル請負ハ各自入札金高二

十分一ヨリ少ナカシタル金額ヲ身元保証金トシテ開札

ノ際差出指名入札及特選ノ請負ハ契約証書ト同時ニ右

同額ノ保証金ヲ差出モノトス其納書凡例左ノ如シ

但指名入札及特選請負ニシテ其金高百圓以下ノモノ

ハ保証金ヲ要セス

身元保証金ハ公債証書又ハ府廳爲替方各銀行預金証

廿二年

百廿九



納書凡例

書ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ

保証金納書

何々(名稱ハ仕様帖表摺ノ通)請負代金何程ニ對ス  
ル身元保証トシテ

一金——圓

或ハ(但別紙何銀行預金証書ヲ以テ代用ス)

一何公債証書某號何番額面金——圓 (公債証書ノ價格ハ  
當廳ノ所定ニ仍ル)

(若シ敷通ナルトキハ此行ニハ合額面金高ヲ

記シ左ノ但書ヲ加)

但別紙仕譯書之通

右當御廳請負規約第五條前段(後段)ニヨリ身元保  
証金トシテ相納候也

肩書前同斷

年 月 日

何 某 印

府知事宛



(前紙ト同文ニ付畧)

廿二年

百四十一

番號

右領置ス

但本証若シ紛失等ニテ本文、  
、  
、  
下戻ノ節  
差出シ難キトキハ証人ヲ立テ其趣届出更ニ請  
取証書ヲ以テ之レカ下戻ヲ請フヲ得

京都府第二部

明治 年 月 日

會計課

印

公債証書仕譯書凡例

保證金代納公債証書仕譯書

一何公債額面計金何圓

此証書何枚

内

何圓証

某號何番

(内譯ハ此例ニ倣ヒ一種類毎ニ一項掲ク)

右ハ何々請負金高何圓ニ對スル身元保證金ノ代  
リトシテ相納候也

肩書前同斷

年 月 日

請負人

何 某

印

府知事宛

第六條

左ノ場合ニ於テハ其入札ヲ取消スヘシ

第一

入札ノ人物ヲ信認スル能ハサルトキ

第二

入札代價不相當ト視做スモノ

第三

入札ノ文字不明瞭ト視做スモノ

第四

入札書ニ押印ナキモノ

第五

請負規約及仕様帖ニ記名調印モサルモノ

第六

第十條内譯明細書ヲ不相當ト視認ルモノ

第七條

最低價ニ當ル入札二名以上同額ナルトキハ抽籤

ヲ以テ當否ヲ定ム

第八條

最低價ニ當ル入札人ノ保證金ハ開札ノトキ直チ

ニ之ヲ預リ置クモノトス

但必要ト視認ルノ場合ニ於テハ第二低價ニ當ル入札

人ノ保證金モ併セテ預置キ請負人確定ノ上其一ヲ返  
附ス若シ第二低札同額ノモノ二名以上アルトキハ第  
七條ノ例ニ仍ル

第九條

左ノ場合ニ於テハ其入札ヲ取消シ爾後滿壹ケ年

間請負ノ入札ニ加ヘス且第二項以下保證金ヲ差出タル

場合ハ該金(請負高ノ二十分)ヲ以テ當廳ノ所得トス

但此場合ニ於テ既ニ契約シタル別途ノ請負ヲモ併セ

テ解止スルコトアルヘシ最モ其請負金ノ支拂方ハ第十

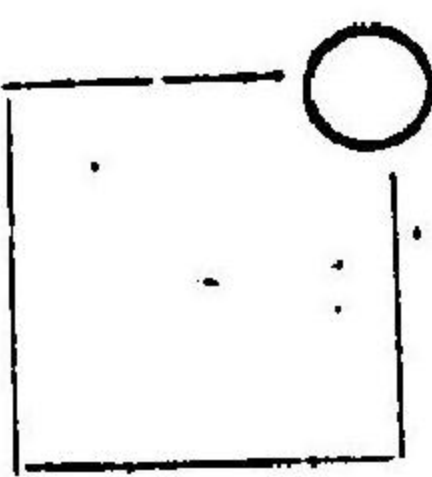
二條ノ例ヲ用ヒ保證金ハ全額ヲ返附ス

第一 開札ノトキ保證金ヲ差出サ、ルモノ

第二 入札投函後種々ノ事由ニヨリ其取消引換、又ハ金

員ノ變更ヲ求ムルトキ

- 第三 内譯明細書ヲ其指定シタル日限ニ出サ、ルトキ
- 第四 請負証書ヲ其期限ニ出サ、ルトキ
- 第十條 開札ノ上其最低價ノ入札人へハ先ツ仕様帖ニ倣ヒ内譯明細書日限ヲ定メ出サシメ調査ノ上不相當ナキヲ認メ始メテ落札ヲ請負人ニ通知スヘシ請負人ハ此通知ヨリ五日以内ニ左ノ証書ヲ出スヘシ



(金高相當印紙貼用)  
用紙美濃紙

請負証書

一金何程

請 負 高

右ハ今般何々請負御契約申上候就テハ當御廳請負規約及工事仕様帖(品目書)ノ通確守シ何年何月何日ヨリ若手何年何月何日迄無相違竣成(皆納)可致若シ本人病氣其他ノ事故ニヨリ請負事業ニ差支ヲ生スルトキハ凡テ保証人ニ引受義務完了可致然レモ尙請負規約ニ相背キタル廉アリト御認定ノ上ハ直チニ第十二條ニヨリ此請負ヲ御解止保証金ハ當御廳ノ御所得ト相成ルハ勿論請負代價ノ義モ同條之通御減却相成毫モ異存無之候依テ契約証書如件

肩書前同斷

年 月 日 請負人 何 某 印

京都府何郡區町村何番戶

保証人 何 某 印

(當府ノ本籍ニアラス及請負停止期限中ノモノハ保証人タルヲ得ス)

府知事宛

第十一條 開札ノ際既ニ差出タル現金ヲ請負契約ノ際更ニ第五條後項ノ如クスルコトヲ得

第十二條 請負契約ノ後請負人自ツカシ其契約ヲ解カント欲シ又ハ當廳ニ於テ其請負ヲ果ス能ハスト推認シ其他不正ノ所業アリト認知スルキハ本人ノ諾否ニ拘ラス該契約ヲ解放シ爾後滿三ケ年間請負ノ入札ニ加ヘス保

証金ハ請負金高ノ二十分一ヲ當廳ノ所得トシ請負代金ハ其工事ノ出來形物品ノ納高ヲ當廳ニ於テ認定シ其價格(價格ハ請負人ヨリ差出)十分ノ七以内ノ金額ヲ交附シテ拂濟トス

但此場合ニ於テ既ニ契約シタル別途ノ請負ヲ併セテ解止スルコトアルヘシ最モ其請負金ノ支拂方ハ本條ノ如クシ保証金ハ全額ヲ返附ス

第十三條 餘儀ナキ事實ヲ証明シ請負ノ延期ヲ請求スルトキハ審査ノ上當廳ノ見込ヲ以テ相當ノ日數ヲ増加スルトキアルヘシ故ニ是等ノ手續ヲ經ス限ニ日限ヲ經過スルトキハ第十二條中ノ一事故ト視做シ同條ノ取扱ニ及ブコトアルヘシ

廿二年

第十四條 凡ソ工事ノ竣成又ハ物品皆納ノ認定ハ主任官ヨリ証符ヲ渡スヘシ依テ其以前ニ生スル損失ハ總テ請負人ノ負擔トス

但非常ノ災變ニ罹リ本人防禦ノ力ニ及ハサリシトテ當廳ニ於テ認定スルトキハ臨時何分ノ詮議スルコトアルヘシ

第十五條 請負契約中ノ工事及物品トモ都合ニヨリ増減ヲ要スルトキハ請負人ヨリ差出タル内譯明細書ノ代價ノ割合ヲ以テ計算スヘシ

第十六條 請負代價ハ請求ニヨリ當廳ニ於テ認定スル所ノ工事ノ出來形又ハ現納品ノ數量ニ應シ其代價十分ノ七ヲ越サル金額ノ内借ヲ許シ其殘金及身元保証金ハ第

十三條ニ記スル証符渡濟ノ上ニアラサレハ交付セズ

第十七條 普通工事時限ハ日出ヨリ日没迄ト定メ夜業ハ主任官ヨリ差圖スル場合ニ限ル尤施業時間ハ請負人又ハ部理代人ノ中必ス現場ニ詰切ヘシ

但部理代人ハ本人ト連署シ主任官へ届出認許ヲ請ヘ

第十八條 指名入札ノ請負ニ於テハ此規約書第六條ノ第一項及第八條ヲ除キ特選請負ニ在テハ凡テ入札上ニ關スル手續ヲ除キ其他ハ一切此規約ヲ適用ス

甲第六拾五號 九月廿四日 郡、町村、區、署

甲第六拾六號 九月三十日 郡

徵稅令書ニ關スル事務及帳簿ハ十月十日ヲ期シ其郡收稅

廿二年

部出張所へ引繼ヲ爲スヘシ

右相達ス

甲第六拾七號 十月 郡

他郡長及舊區長ニ於テ授與シタル授業生免許狀所持ノモ  
ノヲ町村立尋常小學校ニ採用セントスル場合ニ於テ本人  
ノ經歷等ニ依テハ別ニ試験ヲ用ヒズ其郡内尋常小學校授  
業生免許狀ヲ授與スルコトヲ得

右相達ス

甲第六十八號 五月 郡

國稅徵收法第八條改正ニ付明治廿年 六月 當廳甲第七十七號  
達所得稅臺帳所轄收稅部出張所へ引繼ヘシ同年 七月 當廳甲  
第八十一號達中開會前ノ下ニ收稅長へ報告シ七字ヲ追加

シ封書ヲ以收稅長へ報告スヘシトアルヲ本官宛上申書ヲ  
添へ所轄收稅部出張所へ送付スヘシト更正シ同達但書ヲ  
改正スル左ノ如シ

但稅法第廿三條ニ據リ稅額ヲ減免シ又ハ稅法施行細則  
第八條及ヒ明治廿二年 四月 府令第四十九號第三項ニ據リ  
納稅人轉居其他異動ノ届出ヲ受ケタルトキハ其旨直チ  
ニ本官宛ノ上申書所轄收稅部出張所へ送付スヘシ  
相達ス

甲第六拾九號 七月 郡、町、村、區、 署

甲第七拾號 十月 郡 區

明治二十二年以前ノ徵兵相當者ニシテ失踪逃亡ノ爲メ徵  
集ニ應セサル者調査ノ儀其筋ヨリ被達候ニ付左ノ書式ニ

廿二年

據、取調來十一月五日迄ニ當廳へ差出スヘシ  
但爾後所在發見シタルトキハ其都度届出可シ

右相違ス

住 所	失蹤(逃亡)年月日	族籍	姓 名
何那何町(村)字何々何番戶	何年何月何日失蹤(逃亡) 何年檢査ノ節失蹤(逃亡)引續 同斷	士族	某長男(養子) 何 某 年號月日生
京都市上京區何町通何町西 <sup>東</sup> 入	何年何月何日失蹤(逃亡) 何年何月何日失資格同年檢査 ノ節失蹤(逃亡)引續同斷	平民	同
何町何番戶			同

甲第七拾壹號 十月十日 郡

明治十四年七月乙第三十七號達郡長へ委任條件第百廿七條

剛除ス

右相違ス

甲第七拾貳號 十二月 郡、町村、區、 零

甲第七拾三號 十一月 郡 零

甲第七拾四號 十一月 郡、町村、區、

明治十九年五月當府乙第八十八號達農商務通信事項樣式

中別冊之通增補更定ス

右相違ス

(別冊)

農商務通信事項樣式

統計部增補  
更定ノ分

目 録			
舊番號	改正番號	表	題
第一號	第一號	田畑自作地小作地概算表	調查期 每年調 報道期 翌年二月



第三號	第二號	米穀作付反別及收穫石高概算表	全	翌年一月
第四號	第三號	麥作付反別及收穫石高概算表	全	其年七月
第五號	第四號	夏成物被害耕地概算表	全	其年九月
第六號	第五號	秋成物被害耕地概算表	全	其年十二月
第七號	第六號	粟外十五種產額表	全	翌年二月
第八號	第七號	茶畑反別概算表	每年十二月三十一日調	翌年二月
第九號	第八號	製茶產額表	每年調	其年八月
第十號	第九號	桑畑反別概算表	每年十二月三十一日調	翌年二月
第十一號	第十號	繭產額表	每年調	其年十一月
第十二號	第十一號	生糸產額表	全	翌年二月
第十三號	第十二號	屑糸其綿繭卵紙產額表	全	翌年二月

第十三號	第十三號	製糖產額表	全	翌年二月
第十四號	第十四號	生蠟漆汁產額表	全	翌年二月
第十五號	第十五號	牛數表	每年十二月三十一日調	翌年二月
第十六號	第十六號	馬數表	全	翌年二月
第十七號	第十七號	豚數表	全	翌年二月
第十八號	第十八號	牧場表	全	翌年二月
第十九號	第十九號	屠獸表	每年調	翌年二月
第二十號	第二十號	織物產額表	全	翌年二月
第二十一號	第二十一號	帶地織物產額表	全	翌年二月
第二十二號	第二十二號	疊表產額表	全	翌年二月
第二十三號	第二十三號	寒天產額表	全	其年四月

第廿二號	第廿四號	紙類產額表	全	翌年二月
第廿二號	第廿五號	西洋紙摺附木產額表	每年調	翌年二月
第廿三號	第廿六號	油類產額表	全	翌年二月
第廿四號	第廿七號	陶磁器產額概價表	全	翌年二月
第廿五號	第廿八號	製革產額表	全	翌年二月
第廿六號	第廿九號	綿糸產額表	全	翌年二月
第廿七號	第三十號	麥稈紐產額表	全	翌年二月
第廿八號	第三十一號	農工及諸雇賃錢表	全	翌年二月
第廿九號	第三十二號	職工及諸雇賃錢表	全	翌年二月
第三十號	第三十三號	商賈種別表	每年三月 三十一日調	其年四月
第三十一號	第三十四號	諸市場表	全	其年四月

第廿九號	第三十五號	都邑物價表	上京區 天田郡 下京區 與謝郡	每月調	翌年二月
全	第三十六號	水產製造物產額價額表		每年調	翌年二月
全	第三十七號	全上ノ貳		全	翌年二月
全	第三十八號	全上ノ三		全	翌年二月
第廿八號	第三十九號	全上ノ四		全	翌年二月
第廿八號	第四十號	全上ノ五		全	翌年二月
第三十號	第四十一號	全上ノ六		全	翌年二月
第三十一號	第四十二號	民有山林概計表		每年六月 三十日調	其年九月
第三十二號	第四十三號	農商諸會社表		每年十二月 三十一日調	翌年一月
全	第四十四號	全上ノ貳		全	翌年一月
第三十三號	第四十五號	工業會社及諸製造所表		全	翌年一月

全	第四十六號	全上ノ貳	全	翌年一月
第三十四號	第四十七號	水運會社表	全	翌年一月

以上番號ノミヲ掲載シ以下表式ヲ省察セシモノハ從前ノ儘變更セサルニ因ル

貳號

何郡上京區米穀作付段別及收穫石高概算表

明治何年分  
報道期翌年一月

種 類	本年作付段別	本年收穫高	壹段步收穫高	備 考	
					早 稻
				前年ニ對スル各種増減ノ事由ヲ詳細ニ陳述スヘシ以下此例ニ準フ	

第三號

何郡上京區麥作付段別及收穫石高概算表

明治何年分  
報道期其年七月

種 類	本年作付段別	本年收穫高	壹段步收穫高	備 考

第七號

何郡上京區茶畑段別概算表

明治何年十二月三十一日調  
 報道期翌年二月

備考	反	總反別
		園圃
	反	自生地
	反	從初年至三年
	反	四年
	反	從五年至六年
	反	從七年至八年
	反	從九年至十年
	反	十一年以上
	反	見積反別

見積欄内ニハ園圃ノ周圍又ハ邸地等ニ栽培セル茶樹ノ株數(株蒔ナレハ)若クハ列數(畦蒔ナレハ)ヲ以テ近傍茶畑ノ株數列數ニ比準シ段別ニ改算シテ記入スヘシ

第八號

何郡上京區製茶產額表

明治何年分  
 報道期其年八月

備考	貫	製茶家ノ數
		碾茶
	貫	玉露
	貫	煎茶
	貫	番茶
	貫	釜蒸
	貫	紅茶
	貫	烏龍
	貫	合計

何那上下京區桑畑段別概算表

明治何年十二月三十一日調  
報道期翌年二月

備 考	菑		桑		木		桑園外ノ分	
	株數	反別	株數	反別	株數	反別	反別合計	株數
		反		反		反	反	反

園圃ノ周圍又ハ邸地等ニ栽培セル桑樹ハ株數ヲ以テ近傍桑畑ノ株數ニ比準シ段別ニ改算シテ見積欄内ニ記入スヘシ  
根刈ハ根際ヨリ刈ルモノ刈桑ハ地面ヨリ一尺以上ノ處ニテ刈ルモノヲ云フ

何那上下京區繭産額表

明治何年分  
報道期其年十一月

備 考	春		夏		合計	
	繭ノ數	石	繭ノ數	石	繭ノ數	石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石
		石		石		石

秋繭繭天産繭ノ産出アル地方ハ本表ニ準シ別表ニ記スヘシ

何郡上京區生絲產額表

明治何年分  
報道期翌年二月

備	者	製絲家ノ數		折返シ造	提造	島田造	鐵炮造	其他	合計
		器	坐						
		貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫

本表ハ其地產出ノ繭ト他ヨリ買入タル繭トヲ論セス其郡區内ニ於テ製シタルモノヲ表出スヘシ

何郡上京區絹絲眞綿蠶卵紙產額表

明治何年分  
報道期翌年二月

備	者	眞綿蠶卵紙		計眞綿蠶卵紙
		其他	生皮	
		貫	貫	貫

本表ハ其地產出ノ繭ト他ヨリ買入タル繭トヲ論セス其郡區内ニ於テ製シタルモノヲ表出スヘシ

第十三號

何郡上京區製糖產額表

明治何年分  
報定期翌年二月

考 備	白	下	二度押	二	半	三	盆	水	糖	棒	糖	黑	糖	糖	密
		貫		貫		貫		貫		貫		貫		貫	

各種其地產出ノ總額ヲ掲クルモノトス但他ノ地方ヨリ粗製品ヲ買入レ更ニ之ヲ精製シタルモノハ掲載ノ限ニアラス  
白下糖ハ精製糖ノ原料ニ充テタル量モ記入スヘシ  
蔗粟甜菜等ノ製糖アル地方ハ本表ニ準シ別表ニ記スヘシ

第十八號

何郡上京區牧場表

明治何年十二月三十一日調  
報定期翌年二月

考 備	所在地		牧場		及場名		箇所		反別		種 別	内 種	種 類	種 計	外 種	種 計	合 計	計	
	種 別	種 計	種 計	種 計	種 計	種 計	種 計	種 計	種 計	種 計									種 計
	猪	羊	馬	當	二	歲	以上	牛	當	二	歲	以上							

一本表ハ第十五號(舊十)表凡例ニ示セル(牧場ニ放養スル畜類ハ一場毎ニ製表スヘシ)トアルモノ、表式トス

何那下京區屠獸表

明治何年分  
報道期翌年二月

屠殺場地名	屠牛		屠馬		屠羊		屠豚	
	牝	計	牝	計	牝	計	牝	計

本表ハ食用ノ爲ニ屠リタルモノノミヲ掲クヘシ

何那下京區織物產額表

明治何年分  
報道期翌年二月

絹織物			綿織物			品名	產額	反	價	額
計	綿縮何々	綿天鵝絨子	計	鈍縮何々	縹縮何々					

麻織物			及綿交織物			品名	產額	反	價	額
計	晒縮何々	帳地何々	計	何蚊帳々	雜					



物織綿木		
計	何	白
	倉	木
	々	綿
總計	物織	
	計	何々

百七十二

一匹卷本其他共總ヲ反ニ改算スヘシ但ハシケチーフハ枚  
ヲ以テ記入スルモノトス

第二十一號

物織交綿		物織絹		品名	産額	價額	品名	産額	價額
計		計	何々 男 女						

何郡上京區帶地織物産額表

明治何年分  
報道期翌年二月

一子供帯ハ男女トモ二本ヲ以テ一本ト算シ又女帯半幅ノモノハ二本ヲ以テ一本ト算  
出スヘシ

廿二年

百七十三

第二十三號

百七十四

備考	製造價	製造價	製造價		製造戶數	職工數
			圓	圓		

何郡上京區寒天產額表

明治何年分  
報道期其年四月

第二十四號

備考	製造價	製造價	製造價		製造戶數	職工數
			圓	圓		

何郡上京區紙類產額表

明治何年分  
報道期翌年二月

廿二年

百七十五

第二十五號

百七十六

何郡上京區西洋紙及摺附木產額表

明治何年分  
報定期翌年二月

備考	數	西		紙	摺	附	木	額
		量	金					
	圓			額	數	量	金	圓
						哥		

本表(哥)ハ十二ダース

第二十六號

何郡上京區油類產額表

明治何年分  
報定期翌年二月

備考	製造家數	菜種油		綿實油		荏		油		胡麻油		桐實油		合		計	
		石數	金額	石數	金額	石數	金額	石數	金額	石數	金額	石數	金額	石數	金額		
		石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓	石	圓

廿二年

百七十七

何郡上京區綿絲產額表

明治何年分 報道期翌年二月

備考	洋製機械取		和製機械取		合	計
	目金	額量	目金	額量		
	貫	圓	貫	圓	貫	圓

和製機械取ハ臥雲某發明ノ機械其他之ニ類スル機械ヲ以テ紡績シタルモノヲ取調記入スヘシ  
 線車ヲ以テ紡績シタルモノハ調査スルニ及ハス

何郡上京區麥稈紐產額表

明治何年分 報道期翌年二月

備考	東	
	數量	金額
		圓

第三十三號

商買種別表

明治何年三月三十一日調  
報道期其年四月

考 備	地名		種目		問屋		仲買		卸賣	
	何々	何々	米穀	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々
				戸		戸		戸		戸
						戸		戸		戸
								戸		戸
										戸
										戸
										戸
										戸
										戸

一 本表ハ上下京區、天田那知山、真淵那宮津ノ四ヶ所ニ就キ取調フルモノトス  
 一 兼業者ハ其重ナル一業ヲ掲クヘシ  
 一 水陸運輸業者ハ問屋ノ欄ニ質、兩替、公債、株式營業者ハ仲買ノ欄ヲ假用スヘシ  
 一 但シ米商會所株式取引所等政府ノ條例ニ據テ設立セシモノ、仲買人ハ調査ヲ要セズ

第三十四號

何那上京區諸市場表

明治何年三月三十一日調  
報道期其年四月

考 備	市場名稱		賣買品目		所在地名		開市日	
	何那上	何那下	何那上	何那下	何那上	何那下	何那上	何那下

本表記載方ハ例ヘハ日野市(名稱)生絲、繭、米穀、(賣買品)一六(市日)ト云フカ如ク  
 明ニスヘシ

廿二年

何郡上京區都邑物價表

明治何年分  
報定期翌年二月

物	品	立物平均	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
		名稱	均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
米	上	一石	何々											
	中	全												
	下	全												
大麥	全													
小麥	全													
大豆	全													

廿二年

小豆	食鹽	醬油	清酒	茶 (番茶粉茶 ヲ除ク)	白砂糖 (和産 洋産)	赤砂糖 (和産 洋産)	鹽節	烟草
全	全	全	全	百斤	全	全	一貫目	全
、	、	、	、	、	、	、	、	、

繭 (玉蠶殼繭ヲ除ク)一石	金	綿	木	緑	生 絲	海 氣 絹	麻 苧	藍 玉	丁 銅	鐵	和産塊鐵 一貫目		洋産熟鐵丸一分全		〔松尺ノ二間 一本〕
											洋産全		和産全		
											生 一反		晒 全		

繭 (玉蠶殼繭ヲ除ク)一石	金	綿	木	緑	生 絲	海 氣 絹	麻 苧	藍 玉	丁 銅	鐵	和産塊鐵 一貫目		洋産熟鐵丸一分全		〔松尺ノ二間 一本〕
											洋産全		和産全		
											生 一反		晒 全		

水	油	一石		材木	杉尺	二間	全
石	油	一函			松	六分板	一坪
石	炭	百斤			杉	四分板	全
炭			十貫目				
美濃紙			全				
半紙			全				
肥料			全				

一此郡邑物價ハ上下両京區、天田郡福知山、與謝郡宮津ノ四ヶ所ニ就取調フルモノトス其他ハ調査ニ不及

一商品ハ各共同種ノ内立物ヲ定メ置キ其名稱(例ハ米ナレハ肥後米、食鹽ナレハ本齊田ノ如シ)ヲ註記シ其相庭ヲ取ルヘシ若シ其後前ニ定メタル立物ノ相庭ナキトキハ成ルヘシ同品格ノモノ、相庭ヲ取ルヘシ

一右立物ノ内米ハ上中下ノ三等ニ區別シ其他ハ都テ中等品則チ並品ノ卸相場ニ據リ毎月十日間ニ一日則チ一ヶ月三度(例ハ五ノ日若シハ六ノ日)ヲ以テスルカ如シノ相場ヲ平均シテ記入スルモノトス若シ全ク相場ヲキ物品ハ其欄内品名ノ下ニ朱線ヲ引クヘシ亦斤量ヲ用フルモノハ十六貫目ヲ以テ百斤トナシ其相場ヲ掲ク金巾ノ



一反ハ裏地花色ヲ除ク外總テ一釜ヲ云フ  
 一本表物品ノ外鱒、乾鮑、煎海鼠、人參、寒天、椎茸、昆布、木蠟、樟腦  
 ノ九品ハ特ニ取引ノ多キ都邑ニ限リ其相庭ヲ記載スヘシ

第三十六號

備 考	貫圓	鯉節	何郡上 下京區水產製造物產額價額表 (一) 乾物類 明治何年分 報定期翌年二月
	貫圓	鮪節	
	貫圓	節其他	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	田作	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鮪	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鱈	
	貫圓	乾鱈其他	



第三十九號

百九十二

備考	貫圓	昆布
	貫圓	海苔
	貫圓	荒布
	貫圓	和布
	貫圓	海羅 <sup>ハソカ</sup>
	貫圓	鹿尾菜 <sup>ヒシキ</sup>
	貫圓	鹿角菜 <sup>フノリ</sup>
	貫圓	石花菜
	貫圓	苔其 <sup>トモ</sup>
	貫圓	藻類他

何郡上京區水產製造物產額價額表 (四) 苔藻類 全上

第四十號

備考	貫圓	乾鰯
	貫圓	鰯摺粕
	貫圓	鮮摺粕
	貫圓	其他魚粕
	貫圓	鰻魚
	貫圓	鯿
	貫圓	鯨
	貫圓	其他魚油
	貫圓	魚蠟

何郡上京區水產製造物產額價額表 (五) 雜類 全上

廿二年

百九十三

第四十一號

百九十四

何那上京區食鹽產額表 (六) 全上

考備	所在地名		鹽漬其他 食鹽產額	價額	電數	營業人	工數	
	反	石					男	女

第四十三號

何那上京區農商諸會社表 (一) (資本ヲ株式ニ分) 明治何年十二月三十一日調  
 (別シタルモノ) 報定期翌年一月

總計	農		商		名稱	經營 別業 地所 在創 年月	資本 金	全 株 主 數	支 出 金	營 業 收 入 金
	合 計		合 計							

廿二年

百九十五